

| | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|
| | | | <p>(演劇) 「シラノ・ド・ベルジュラック」(11月2日～12日、7回、中劇場) 「イワーノフ/オイディプス王」(11月4日～12日、7回、小劇場) 共催：財団法人静岡県舞台芸術センター</p> <p>4. 全国における上演</p> <p>(オペラ) 「モーツァルト生誕250周年記念レクチャーコンサート」 9月23日、1回、三重大学講堂(三翠ホール)、主催：三重大学附属図書館 「国立新美術館プレ・イベントオペラコンサート2006」 11月30日、1回、国立新美術館1階エントランス、主催：国立新美術館 「第5回東京国立近代美術館コンサート新国立劇場の若手歌手によるクリスマスコンサート」 12月11日、2回、東京国立近代美術館エントランスホール、主催：東京国立近代美術館 「新国立劇場の若手歌手によるクリスマスコンサートin京都国立博物館」 12月22日・23日、2回、京都国立博物館特別展示館中央ホール、 主催：京都国立博物館、京阪電気鉄道株式会社</p> <p>(バレエ) 「ライモンダ」 10月15日、1回、梅田芸術劇場、主催：梅田芸術劇場 「シンデレラ」 1月7日、1回、新潟県民会館大ホール、主催：財団法人新潟県文化振興財団</p> <p>(現代舞踊) 「DANCE EXHIBITION 2006 in TOYAMA」 11月18日、1回、富山オーバード・ホール舞台上特設シアター、 主催：財団法人富山市民文化事業団、富山市</p> <p>(演劇) ブロードウェイ・ミュージカル「Into the Woods」 11月15日～11月20日、2回、兵庫県芸術文化センター大ホール、 主催：兵庫県、兵庫県立芸術文化センター</p> | | |
|--|--|--|--|--|--|

| 3. 伝統芸能の伝承者 芸術の実演家その他 の関係者の研修 | (1) 伝統芸能の伝承者の養成 | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <p>1. 養成研修の実施</p> <p>(1) 養成研修の実施状況</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>年度計画</th> <th>実 績</th> <th>うち修了生</th> <th>修了生累計</th> <th>中期計画</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">歌 舞 伎</td> <td>俳優18期</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>6名</td> <td>12名</td> </tr> <tr> <td>鳴物13期</td> <td>2名</td> <td>1名</td> <td>—</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>長唄3期</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>1名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">大衆芸能</td> <td>寄席囃子</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>太神楽4期</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>5名</td> </tr> <tr> <td>能 楽</td> <td>7期</td> <td>3名</td> <td>3名</td> <td>—</td> <td>3名</td> </tr> <tr> <td>文 楽</td> <td>22期</td> <td>2名</td> <td>0名</td> <td>2名</td> <td>4名</td> </tr> <tr> <td>組 踊</td> <td>1期</td> <td>10名程度</td> <td>10名</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 研修発表会等の実施 歌舞伎俳優、歌舞伎音楽(鳴物・長唄)、大衆芸能(太神楽)を合同で1回 能楽5回(うち1回は京都・大阪の養成会と合同)、組踊2回</p> <p>(3) 募集 歌舞伎俳優第19期生(10名仮合格)、長唄第4期生(4名仮合格)、太神楽第5期生(3名仮合格)、文楽第23期生(4名仮合格)の募集を行った。</p> <p>2. 既成者研修の実施</p> <p>(1) 既成者研修発表会の実施</p> <p>① 歌舞伎俳優、歌舞伎音楽の既成者に対し、技芸向上のための研修を実施した。 ・ 歌舞伎俳優既成者研修発表会2回(目標2回) ・ 歌舞伎音楽既成者研修発表会1回(目標1回)</p> <p>② 能楽の研修修了生等による能楽若手研究会を、大阪、京都、東京において実施した。 ・ 能楽若手研究会3回(目標3回)</p> <p>③ 文楽の既成者に対し、技芸向上のための研修を実施した。 ・ 文楽既成者研修発表会1回(目標1回) ・ 文楽素浄瑠璃既成者発表会1回(目標2回) 文楽素浄瑠璃既成者発表会は、2回開催(10月、3月)の計画であったが、3月の公演については、出演者及び出演者の指導にあたる師匠のスケジュール等調整に困難を極め中止となった。</p> <p>(2) 能楽研究課程の開講 能楽の既成者研修として、前年度に引き続き、研修修了生と能楽師子弟を対象に研究課程を開設した。(受講者47名)</p> <p>3. 外部評価、委員会における検討等の実施</p> <p>(1) 養成事業委員会の開催(1回開催) 3月22日(木) (検討内容) 18年度の養成実施状況、19年度の養成計画、募集等 (反映状況) 19年度の研修生募集については、メディアの活用や振興会ホームページの充実化、教育関係者への周知等更なる工夫と改善をし、優秀な人材の確保を図る。</p> <p>(2) 関係団体との協議 伝統歌舞伎保存会、歌舞伎義太夫竹本協会、義太夫協会、歌舞伎囃子協会、歌舞伎長唄協議会、松竹株式会社、日本演芸家連合、落語協会、落語芸術協会、太神楽曲芸協会、日本能楽会、能楽協会、文楽協会、伝統組踊保存会、沖縄伝統舞踊保存会、沖縄伝統音楽野村流保存会、</p> | 区 分 | 年度計画 | 実 績 | うち修了生 | 修了生累計 | 中期計画 | 歌 舞 伎 | 俳優18期 | 6名 | 6名 | 6名 | 12名 | 鳴物13期 | 2名 | 1名 | — | 3名 | 長唄3期 | 1名 | 1名 | 1名 | 2名 | 大衆芸能 | 寄席囃子 | — | — | — | 4名 | 太神楽4期 | 3名 | 3名 | 3名 | 5名 | 能 楽 | 7期 | 3名 | 3名 | — | 3名 | 文 楽 | 22期 | 2名 | 0名 | 2名 | 4名 | 組 踊 | 1期 | 10名程度 | 10名 | — | — | A | A | <p>国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、成果があがっているものと認められる。文楽については、2名の研修生のいずれかが辞退するという残念な結果になったが、長期的な展望に立って今後とも事業を継続していくことが重要である。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】 長い時間と多額の費用をかけて養成したのだから、業種によってはもっと積極的な支援ができないものだろうか。現代青少年が置かれている社会背景に基づく彼らの一般的な気質や性情を十分に踏まえ、選考及び選考後の研修のあり方に関して工夫することが期待される。</p> |
|-------------------------------------|-----------------|---|---|-------|------|-----|-------|-------|------|-------|-------|----|----|----|-----|-------|----|----|---|----|------|----|----|----|----|------|------|---|---|---|----|-------|----|----|----|----|-----|----|----|----|---|----|-----|-----|----|----|----|----|-----|----|-------|-----|---|---|---|---|--|
| 区 分 | 年度計画 | 実 績 | うち修了生 | 修了生累計 | 中期計画 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 歌 舞 伎 | 俳優18期 | 6名 | 6名 | 6名 | 12名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 鳴物13期 | 2名 | 1名 | — | 3名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 長唄3期 | 1名 | 1名 | 1名 | 2名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 大衆芸能 | 寄席囃子 | — | — | — | 4名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 太神楽4期 | 3名 | 3名 | 3名 | 5名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 能 楽 | 7期 | 3名 | 3名 | — | 3名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文 楽 | 22期 | 2名 | 0名 | 2名 | 4名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 組 踊 | 1期 | 10名程度 | 10名 | — | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | |
|------------------|--|--|---|
| | | <p>沖縄伝統音楽安富流保存会、沖縄伝統音楽箏曲保存会等関係団体と、研修修了生の受入れ、新規の募集、講師の依頼等について協議を行った。</p> <p>(3) 能楽・寄席囃子、及び竹本の次期募集について 能楽第8期及び竹本第18期の募集については、関係団体、有識者と協議の結果、19年度から募集を行うこととした。寄席囃子第13期の募集については、関係団体と協議の結果、今年度の実施を見送ることとした。募集時期については、引き続き協議・検討を進める。</p> <p>【特記事項】 文楽芸員の特に若手の人材の育成が重要な課題であり、また早期の養成について財団法人文楽協会から依頼があったこともあり、平成20年度開講予定であった第23期文楽研修を1年前倒しして平成19年度開講とすることで、募集を実施することとした。</p> | |
| ①歌舞伎（俳優、音楽） | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 研修の実施 歌舞伎俳優：第18期生（6名）の3年目の研修を実施し、研修を修了。 歌舞伎音楽（鳴物）：第13期生（1名）の1年目の研修を実施。 歌舞伎音楽（長唄）：第3期生（1名）の3年目の研修を実施し、研修を修了。</p> <p>2. 主な講師 中村又五郎、澤村田之助、坂東竹三郎、松本錦吾、中村吉之丞、中村時蝶、尾上松太郎、花柳壽楽、藤間勘祖、竹本清太夫、今藤長十郎、米川文字、田中佐太郎、田中傳兵衛、望月太左衛門、望月太左之助、鳥羽屋里長、杵屋巳太郎、近藤瑞男、ほか（総勢67名）</p> <p>3. 養成状況（主な授業及び回数） (1) 主な授業 歌舞伎実技、立廻り、とんぼ、化粧、着付け、日本舞踊、義太夫、箏曲、鳴物、長唄、講義、楽屋・舞台実習等 (2) 授業回数 実技(歌舞伎俳優223回、鳴物341回、長唄200回) その他(歌舞伎俳優260回、鳴物98回、長唄141回) 計1,263回</p> <p>4. 発表会（1回実施） 合同研修修了発表会・研修発表会（1月24日(水)、本館小劇場） 歌舞伎俳優第18期生、長唄第3期生、太神楽第4期生の修了発表会とともに、鳴物第13期生の研修発表会を合同で実施した。</p> <p>5. 募集・選考の状況 歌舞伎俳優第19期生、長唄第4期生の募集を行い、見学会・説明会を実施した。選考試験を3月に行い（従来は4月）、それぞれ、10名(22名中)、4名(6名中)が仮合格した。</p> <p>6. メニュー、研修実施方法等の検討 引き続き養成研修を実施する。歌舞伎俳優第19期生、長唄第4期生の1年次の研修について、講師・関係団体等と協議し、適性審査の時期や内容、発表会演目及び基礎修得のためのカリキュラムの検討を行った。</p> <p>(関係団体等との協議) 伝統歌舞伎保存会、歌舞伎義太夫竹本協会、歌舞伎長唄協議会、松竹株式会社と、研修修了生の受入れ、新規の募集、講師の依頼等について協議を行った。</p> | A |
| ②大衆芸能（寄席囃子、太神楽） | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 研修の実施 第4期生（3名）の3年目の研修を実施し、研修を修了。</p> <p>2. 主な講師 翁家和楽、鐘味仙三郎、翁家小楽、鐘味勇二郎、鐘味繁二郎・叶家勝二・望月鏡子、望月太左衛門、藤間理衣、小口けい、ほか（総勢15名）</p> <p>3. 養成状況（主な授業及び回数） (1) 主な授業 立てもの、投げもの、獅子舞、囃子、日本舞踊、講義等 (2) 授業回数 実技557回、その他45回 計602回</p> <p>4. 発表会（1回実施） 合同研修修了発表会・研修発表会（1月24日(水)、本館小劇場） 歌舞伎俳優第18期生、長唄第3期生、太神楽第4期生の修了発表会とともに、鳴物第13期生の研修発表会を合同で実施した。</p> <p>5. 募集・選考の状況 太神楽第5期生の募集を行い、見学会・説明会を実施した。選考試験を3月に行い（従来は4月）、3名全員が仮合格した。 寄席囃子第13期の募集については、関係団体との協議の結果、寄席囃子演奏者が充足しているため今年度の実施を見送ることとした。募集時期については、引き続き協議・検討を進める。</p> <p>6. メニュー、研修実施方法等の検討 引き続き養成研修を実施する。講師・関係団体等と協議し、適性審査の時期や基礎修得のためのカリキュラムの検討を行った。</p> <p>(関係団体等との協議) 日本演芸家連合、落語協会、落語芸術協会、太神楽曲芸協会と、研修修了生の受入れ、新規の募集、講師の依頼等について協議を行った。</p> | A |
| ③能楽（ワキ方、狂言方、囃子方） | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 研修の実施 第7期生（専門研修課程、3名）の5年目（専門研修課程初年次計画）の研修を実施 内訳：ワキ方1名及び囃子方2名（小鼓方1名、大鼓方1名）</p> <p>2. 主な講師 観世清和、福王茂十郎、大倉源次郎、亀井忠雄、松本雍、ほか（総勢27名）</p> <p>3. 養成状況（主な授業及び回数） (1) 主な授業 ワキ方：ワキ謡・型、装束付け・扱い、四拍子の副科実技、技法論の講義 囃子方：小鼓、大鼓の各専攻科目、シテ謡、四拍子の副科実技、技法論の講義</p> | A |

| | | | |
|-----------------|--|--|---|
| | | <p>(2) 授業回数 ワキ方 429回、小鼓方461回、大鼓方 50回 計 940回</p> <p>4. 発表会等 (6回実施) 第7期生が研修修了生及び能楽師子弟等の既成者を助演者に迎え、より実践的な技芸の練磨を行う場として「能楽研鑽会」(公開制)を四半期ごとに行った。(6/14・9/13・12/13・3/13、能楽堂本舞台) また、第7期生が京都、大阪の各養成会研修生等と合同で「東西合同研究発表会」に参加し、相互交流を深めながら、日頃の技芸研鑽の成果を公表した。(主催：大阪能楽養成会／共催：京都能楽養成会・国立能楽堂／8月29日大阪能楽会館)</p> <p>5. 募集・選考の状況 能楽第8期生の募集に関し、関係団体及び有識者と協議を行い、19年度に募集することとした。</p> <p>6. メニュー、研修実施方法等の検討 引き続き養成研修を実施する。翌年度は第7期生の研修修了年に当たることから、当該年度の「能楽研鑽会」はこれに相応しい曲目、助演者を得て番組案を作成するべく、講師会議において年間の計画を立案した。</p> <p>(関係団体等との協議) 日本能楽会、能楽協会と、研修修了生の受入れ、新規の募集、講師の依頼等について協議を行った。</p> | |
| ④文楽 (大夫、三味線、人形) | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 研修の実施 第22期生：在籍者なし 選考試験仮合格者2名。6月に1名辞退、1名は適性審査を経て1年目の研修を引き続き実施したが、11月に辞退した。</p> <p>2. 主な講師 竹本住大夫、鶴澤寛治、吉田玉男、吉田養助、吉田文雀、ほか(総勢36名)</p> <p>3. 養成状況(主な授業及び回数) (1) 主な授業 義大夫、三味線、人形実技、日本舞踊、作法、講義、公演・稽古見学、部外研修等 (2) 授業回数 実技：142回、座学等133回</p> <p>4. 募集・選考の状況 文楽第23期生を募集し、選考試験を3月に行い(従来は4月)、4名(6名中)が仮合格した。</p> <p>5. メニュー、研修実施方法等の検討 (関係団体等との協議) 文楽協会と、研修生の受入れ、新規の募集、講師の依頼等について検討を行った。</p> <p>【特記事項】 文楽技芸員の特に若手の人材の育成が重要な課題であり、また早期の養成について財団法人文楽協会から依頼があったこともあり、平成20年度開講予定であった第23期文楽研修を1年前倒しして平成19年度開講とすることで、募集を実施することとした。</p> | B |
| ⑤組踊 (立方・地方) | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 研修の実施 第1期(10名)の2年目の研修を実施。 内訳：立方3名及び地方7名(三線4名、箏2名、笛1名)</p> <p>2. 主な講師 宮城能鳳、島袋正雄、照喜名朝一、宮城文、嘉数世勲、ほか(総勢17名)</p> <p>3. 養成状況 (1) 主な授業 組踊実技(立方、三線、箏、笛)、副実技(琉球舞踊、箏、胡弓、太鼓)、基礎実技(発声訓練、身体訓練、作法、舞台衣装)、講義研修(琉球方言基礎)、鑑賞・見学研修(自主公演鑑賞)</p> <p>(2) 授業回数 実技294回、その他51回</p> <p>4. 発表会等 (2回実施) 第3回組踊研修生発表会・組踊「銘苅子」(10月5日、国立劇場おきなわ小劇場) 第4回組踊研修生発表会・組踊「孝行の巻」、琉球舞踊「かせかけ」「汀間と」「鳩間節」(3月15日、国立劇場おきなわ大劇場)</p> <p>5. メニュー、研修実施方法等の検討 組踊研修講師会議を実施(6回)し、技芸習得の進捗状況を踏まえた研修の実施に努めた。 (関係団体等との協議) 20年度から開講する第2期生の募集・研修生の受入れ・講師依頼等について、伝統組踊保存会、沖縄伝統舞踊保存会、沖縄伝統音楽野村流保存会、沖縄伝統音楽安富流保存会、沖縄伝統音楽箏曲保存会等関係団体との協議に向けての資料収集等を行った。なお、第1期生の研修実施については、講師会議等を通じて関係団体との調整を行った。</p> | A |
| ⑥既成者研修 | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>1. 歌舞伎俳優既成者研修発表会(実施2回・目標2回)</p> <p>(1) 第12回稚魚の会・歌舞伎会合同公演 8月24日(木)～27日(日)、4日8回、本館小劇場、有料(3,500円)、 入場者数3,860人(入場率92.4%) (内容)「修禪寺物語」伊豆修禪寺、夜叉王住家の場・桂川のほとり、虎浜橋のたもとの場・もとの夜叉王住家の場(澤村田之助/指導)、「廓三番叟」「願絲縁芋環」「三社祭」(藤間勘祖/振付)、「双蝶々曲輪日記」八幡の里引窓の場(松本錦吾・中村吉之丞/指導)</p> <p>(2) 第16回上方歌舞伎会(国立文楽劇場青年歌舞伎公演) 8月19日(土)～20日(日)、2日4回、文楽劇場、有料(3,500円) 入場者数2,569人(入場率94.9%)</p> | A |

(内容)「春調娘七種」(藤間豊宏/振付)、「双蝶々曲輪日記」(角力場(片岡我當/指導)、「妹背山婦女庭訓」(願絲縁芋環(山村若/振付)、「恋飛脚大和往来」(封印切(片岡仁左衛門・片岡秀太郎/指導))

2. 歌舞伎音楽既成者研修発表会(実施1回・目標1回)
第8回音の会公演
8月12日(土)～13日(日)、2日2回、本館小劇場、有料(2,000円)
入場者数988人(入場率94.1%)
(内容)「廓丹前」(望月太左衛門/鳴物指導 望月太喜二郎/笛指導)、「五條橋」(竹本清大夫・鶴澤正一郎/竹本指導)、「京鹿子娘道成寺」(道行から鐘入りまで(田中傳左衛門・田中傳次郎/鳴物指導 望月長次郎/笛指導)(藤間勘祖/振付 藤間勘十郎・藤間弘/指導))

3. 能楽研修発表会(実施3回・目標3回)
第16回能楽若手研究会(若手能)
京都公演:9月2日(土)、1日1回、京都観世会館、有料(3,000円)
入場者数510人(入場率107.6%) 能「班女」、狂言「仏師」、能「阿漕」(ほか)
大阪公演:1月27日(土)、1日2回、大槻能楽堂、有料(3,000円)
入場者数935人(入場率93.1%) 能「嵐山」、狂言「鷺」、舞囃子「桜川」、能「田村」(ほか)
東京公演:2月3日(土)、1日1回、国立能楽堂、有料(3,000円)
入場者数502人(入場率80.1%) 能「屋島」、狂言「文山立」、能「藤」

4. 文楽既成者研修発表会(実施2回・目標3回)
(1) 第6回文楽若手会
6月24日(土)～25日(日)、2日2回、文楽劇場、有料(2,000円)
入場者数913人(入場率62.4%)
(内容)「菅原伝授手習鑑」車曳の段、寺入りの段、寺子屋の段「新版歌祭文」野崎村の段
(2) 第1回義太夫節に親しむ会
10月7日(土)、1日1回、小ホール、有料(1,000円)
入場者数164人(入場率103.1%)
(内容)「絵本太功記」妙心寺の段、夕顔棚の段

5. 能楽研究課程
能楽の既成者研修として、前年度に引き続き、研修生と能楽師子弟を対象とした研究課程を開設した。
本課程では、シテ方が副科(笛・小鼓・大鼓・太鼓)を受講するほか、三役は異流との新たな共演形態を経験し、シテ方及び三役ともレパートリーを拡げながら、より難易度の高い曲目を習得している。
47名が研究生として受講(実施回数:431回)

【特記事項】
歌舞伎俳優既成者研修発表会(稚魚の会・歌舞伎会合同公演)については、18年度は小劇場で開催した。
新たに実施した義太夫節に親しむ会については、2回(10月、3月)開催の計画であったが、3月の公演については、出演者及び出演者の指導にあたる師匠のスケジュール等調整に困難を極め結果的に中止のやむなきに至った。

(2) 現代舞台芸術の実演家その他の関係者の研修

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

1. 研修の実施
(1) 研修の実施状況

| 区分 | 年度計画 | 実績 | うち修了生 | 修了生累計 | 中期計画 |
|-----|------|-----|-------|------------|------|
| オペラ | 7期 | 5名 | 5名 | 5名 (6期) | 25名 |
| | 8期 | 5名 | 5名 | | |
| | 9期 | 5名 | 5名 | | |
| バレエ | 3期 | 8名 | 8名 | 8名 | 16名 |
| | 演劇 | 1期 | 15名 | 15名 | - |
| | 2期 | 15名 | 15名 | - | - |

(2) 研修発表会等
オペラ:3回(3月研修所公演、7月・11月試演会)
バレエ:3回(8月講習会、10月2年次発表会、2月修了公演)

(3) 募集
オペラ研修第10期生(5名)、バレエ研修第4期生(6名)、演劇研修第3期生(15名)の募集を行った。

2. メニュー、研修実施方法等の検討
(1) 委員会の開催
(開催状況) 評価委員会1回、オペラ・舞踊・演劇専門委員会各1回、演劇研修所サポート委員会2回
(検討内容) 研修事業について専門的観点から意見を聴取。研修発表会の視察。
(主な意見) 研修生の新国立劇場公演への登用及び研修終了後のフォローの必要性が指摘された。
バレエ研修については、充足して6年で着実に発展し、有能な人材を送り出しており、この制度は非常に有意義であることから、定員を少なくしてでも毎年募集を行うことや、2年制から3年制への延長についても検討の必要性が指摘された。
(2) 研修所長及び講師ほか専門家と協議し、研修方法の改善を図った。

A

新国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、着実な成果があがっているものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】
演劇研修については、今後はより具体的に成果が問われることは覚悟しなければならない。それだけの緊張が必要であると思われる。また、今の日本の演劇界では、優れた若手の演出家が少なすぎる。俳優だけでなく、演出家の養成にもぜひ乗り出してほしい。

①オペラ

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

1. 研修生
第7期生(5名、3年目)、第8期生(5名、2年目)及び第9期生(5名、1年目)の研修を行い、第7期生が修了した。

2. 主な講師
マルチェッラ・レアール、中田昌樹、ブライアン・マスダ、セルジョ・ベルトッキ(ほか)(26名)

3. 研修状況(主な授業及び回数)
(1) 主な授業 音楽指導、声楽指導、演技指導、ディクッション、語学、講義、日本舞踊等
(2) 授業回数 第7期生 座学205回、実技758回、その他(舞台実習等)28回
第8期生 座学203回、実技884回、その他(舞台実習等)27回

A

第9期生 座学203回、実技883回、その他（舞台実習等）27回

- ・ 第7期生については、イタリア・ボローニャにおいて、海外研修を行った。（4月～6月）

4. 発表会等（研修公演1回、公開レッスン2回）

(1) 研修公演・公開レッスン

- ・ 7月リサイタル（試演会）（7月29日、30日、2回、小劇場）
- ・ 11月リサイタル（試演会）（11月25日、26日、2回、小劇場）
- ・ 研修公演プリテン作曲「アルバート・ヘリング」（3月8日～11日、4回、中劇場）

海外ゲスト4名、修了生3名、研修生全員、演劇研修第2期生15名

(2) その他出演等

- ・ 「モーツァルト生誕250周年記念レクチャーコンサート」（9月23日 三重大学講堂三翠小ホール）
所長、コーチ1名、研修生3名
- ・ 「イタリア文化会館の生徒による歌のコンサート」（9月30日、1回、イタリア文化会館ウンベルト・アニエッリホール）研修生10名
- ・ 「国立新美術館プレ・イベントオペラコンサート2006」（11月30日、1回、国立新美術館1階エントランス）特任講師1名、コーチ1名、修了生3名、研修生2名
- ・ 「第5回東京国立近代美術館コンサート新国立劇場の若手歌手によるクリスマスオペラコンサート」（12月11日、2回、東京国立近代美術館エントランスホール）特任講師1名、コーチ1名、修了生2名、研修生3名
- ・ 「新国立劇場の若手歌手によるクリスマスオペラコンサートin京都国立博物館」（12月22日・23日、2回、京都国立博物館特別展示館中央ホール）特任講師1名、コーチ1名、修了生3名、研修生1名
- ・ 「ロビーコンサート」（6月25日、9月16日、10月28日、12月16日・17日劇場公開空地）研修生

5. 募集・選考の状況

大学院声楽専攻修了程度の実力を有する者で、入所時年齢が女性32歳以下、男性35歳以下の者を対象に、第10期生の募集を行った。応募総数100名。2月1日から5日まで、3次にわたる選考を経て、5名（ソプラノ1名、メゾ・ソプラノ1名、テノール2名、バリトン1名）が合格した。受験料は5,000円。

6. メニューや研修実施方法等の検討

第4期研修より、海老澤敏オペラ研修所長のもと、以下のような大幅な研修方法の改善を図り、継続中である。

- ・ 研修生一人一人の声を重視し、専門講師陣による十分な検討を経て、一人一人が修得すべきレパートリーを選定する。

第9期生 座学203回、実技883回、その他（舞台実習等）27回

- ・ 第7期生については、イタリア・ボローニャにおいて、海外研修を行った。（4月～6月）

4. 発表会等（研修公演1回、公開レッスン2回）

(1) 研修公演・公開レッスン

- ・ 個人レッスンに加え、学年枠を取り払ったアンサンブル・レッスンや集団での創作活動にも十分に配慮したプログラムを組む。
- ・ オペラに必須の伊・独・英語を軸とした語学、及び演技基礎の充実を図る。
- ・ 海外から経験豊富な講師陣を招聘し、多角的かつ集中的に指導を行う。
- ・ 特任・準特任講師、ヘッドコーチ等を設置し、随時講師陣によるミーティングを行い、個々のレッスンの繋がりを作るとともに、日常的・恒常的に研修状況をチェックし研修内容に反映させる。同時に、研修生の身体的チェックや、精神面も含めた相談にあたる。

②バレエ

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

1. 研修の実施

第3期生（8名、2年目）の研修を行い、全員無事修了した。

2. 主な講師

豊川美恵子、新井咲子、岸辺光代、佐藤勇次、鈴木和子、ゲンナーディ・イリイン他（23名）

3. 研修状況（主な授業及び回数）

(1) 主な授業 クラシカル・バレエ、キャラクター・ダンス、ボディ・コンディショニング、演劇基礎研修、コンテンポラリー・ダンス、バレエと音楽、バレエ史、身体解剖学等

(2) 授業回数 座学173回、実技550回、その他（舞台実習等）11回

4. 発表会等（研修発表会2回）

(1) 研修発表会・公開レッスン

- ・ 第3期生2年次発表会（7月9日、1回、中劇場）
- ・ 第3期生修了公演（2月17日、18日、2回、中劇場）

(2) その他の出演等

- ・ 舞台実習：新国立劇場主催公演「白鳥の湖」（11月12日～19日、5回、オペラ劇場）

5. 募集・選考の状況

プロフェッショナルなダンサーとして就業する意志を持っている者で、入所時年齢が17歳から19歳までの者を対象に、第4期生の募集を行った。応募総数56名。2月24日から3月3日まで、3次にわたる選考を経て、6名（女性6名）が合格した。受験料は5,000円。

また、選考に先立ち、8月22日・22日・23日の3日間、バレエ研修所4期生入所希望者を対象に講習会を実施し、98名が参加した。参加費は5,000円。

6. メニューや研修実施方法等の検討

13年4月にバレエ研修所が開設されるにあたり、「民間の養成所等では十分かつ継続的にできないが、バレエダンサーにとって必要不可欠なことをすべき」として、牧阿佐美バレエ研修所長のもと、以下の事を重視し実施している。

- ・ 様々な指導者から指導を受けることで、将来的に多様な振り付家の要請に応えられるダンサー作りを目指す。
- ・ コンテンポラリー・ダンス、キャラクター・ダンスなどのクラシック以外のダンスについての研鑽も並行して深める。
- ・ バレエと音楽、バレエ史、身体解剖学等、バレエダンサーとして必要な知識の習得を図る。
- ・ 作品解釈力や演劇的表現力を高めるための演技基礎研修を行う。
- ・ 様々な分野で活躍する方の話を伺い、交流を図る「サロン」やマナーに関する講座等を行い、教養を深める。
- ・ 語学研修を行い、外国人指導者とのコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・ 講師連絡帳による申し送り、講師会議の開催等により、個々の講師の連携を密にし、研修内容に反映させると同時に、主要講師陣全体で研

A

| | | | | | |
|---|--|---|---|---|--|
| | <p>③演劇及びその他の関係者の研修</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <p>修生の身体的な面・精神的な面をケアする体制を取っている。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 研修の実施 第1期生（15名2年目）、第2期生（15名1年目）の研修を行う。 2. 主な講師 栗山民也、西川信廣、宮田慶子、大笹吉雄、河合祥一郎、服部基、池内美奈子ほか（57名） 3. 研修状況（主な授業及び回数） (1) 主な授業 身体と演技、声と演技、即興、シーンスタディー、日本舞踊、ダンス、朗読等 (2) 授業回数 第1期生 座学98回、実技1,044回、その他（舞台実習等）137回 第2期生 座学95回、実技953回、その他（舞台実習等）147回 4. 発表会等 オペラ研究所研修公演ブリテン作曲「アルバート・ヘリング」出演（1期生、3月8日～11日、4回、中劇場） 5. 募集・選考の状況 プロフェッショナルな俳優としての舞台活動を目指している者で、入所時年齢が18歳以上30歳以下の者を対象に、第3期生の募集を行った。応募総数360名。2月11日から16日まで、3次にわたる選考を経て、15名（男性7名、女性8名）が合格した。受験料は5,000円。 また、演劇研究所における不安や疑問に答えるべく、研修所施設において、研修所概要やカリキュラム等に関する説明会を4回（1月13日）を行い、131名が参加した。 6. メニューや研修実施方法等の検討 広く専門家の意見を傾聴するために、演劇研究所スタジオ・サポート委員会（委員6名）を組織し、栗山民也所長、西川信廣副所長とともに委員会を2回開催し、研修所の運営や方向性について、議論を重ねた。 7. その他 社団法人日本芸能実演家団体協議会（芸団協）が主催する「現役俳優のためのリフレッシュコース」に協力し、演劇研究所のカリキュラムを発展させた形で、現役舞台俳優のための短期集中トレーニングを行った。（3月12日～23日、芸能花伝舎創造スペース） | A | |
| <p>4. 伝統芸能及び現代舞台芸術に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用</p> | <p>(1) 伝統芸能に関する調査研究の実施並びに資料の収集及び活用</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <ol style="list-style-type: none"> 1. 調査研究 (1) 上演資料集：歌舞伎4冊（目標6冊）、文楽5冊（目標4冊）、組踊3冊（目標2冊）、その他1冊（舞踊） (2) 公演記録：164公演（映像・音声）、視聴室利用数：3,557件 (3) 近代歌舞伎年表の刊行 ・ 「近代歌舞伎年表」名古屋篇第一巻の刊行。 ・ 「近代歌舞伎年表」のための作業成果：劇界記事112件（目標100件）、興行カード633件（目標600件） (4) 古文書の復刻・刊行 ・ 「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編 上巻」の刊行 ・ 「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編 下巻」の刊行 ・ 「国立能楽堂調査研究 NOH THEATRE」第1号の刊行 ・ 「歌舞伎俳優名跡便覧」第四次修訂版に向けての調査 ・ 「日本の伝統芸能講座 音楽」刊行のための準備 (5) 意識調査：「能楽に関する意識調査（高校生）報告書」 (6) 国立劇場委嘱・初演の音楽作品の楽譜等の刊行 「現代の日本音楽第17集（山本邦山）」、「現代の日本音楽第18集（湯浅譲二）」 (7) 沖縄伝統芸能の上演等記録の調査整理：「沖縄芸能史年表三集」の刊行 2. 資料収集 (1) 収集実績・活用状況 （収集）図書：6,178冊、資料：16,549点 （活用）図書閲覧室等利用者：8,219人、資料閲覧者件数：145件、写真複製使用件数：518件 (2) 「芝居版画等図録」：第12巻の刊行準備：カード化108件（目標約150件） 「鍋島家伝来雅楽器」の刊行（18年10月）、「大名から侯爵へ—鍋島家の華—」の刊行（19年1月） (3) データベース化状況 図書15,487件（目標15,000件）、資料511点（目標500点）、自主企画映画5本（目標5本）、公演情報84公演（目標80公演）、公演記録写真19,224枚（目標18,000枚）、扮装図鑑7公演（目標7公演） (4) 博物館施設等への貸与実績：14件 (5) デジタル展示コンテンツの作成 ・ ジオラマビジョン「能の舞台」 (6) 展示公開（実施22回・計画22回） 国立劇場本館資料展示室5回（計画5回） （本館展示室2回・伝統芸能情報館情報展示室3回）、来場者36,560人、演芸場資料展示室4回（計画4回）来場者32,171人、能楽堂資料展示室4回（計画4回）、来場者22,375人、文楽劇場資料展示室5回（計画5回）、来場者64,804人、国立劇場おきなわ4回（計画4回）、来場者8,295人（18年11月から集計） 3. 委員会における検討、アンケート調査の実施 (1) 国立劇場調査事業委員会の開催 7月4日（月）1回開催 国立劇場の調査研究事業についての評価及び意見聴取 （外部専門家等の意見） 長年の地道な調査研究の成果として各種の文献が刊行されているが、利用価値の高い有意義なものである。他機関では成し難い国立劇場なら | A | <p>A 国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、着実な成果があがっており、高く評価する。</p> |

①伝統芸能に関する調査研究の実施

振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する

ではの事業として、引き続き継続していく必要がある。
 (2) アンケート調査
 刊行物に関するアンケート、閲覧室に関するアンケート（伝統芸能情報館・能楽堂・文楽劇場）、展示に関するアンケート（本館・能楽堂・文楽劇場・国立劇場おきなわ）を実施した。

A

1. 上演資料集の刊行

(1) 刊行実績

- ① 歌舞伎 刊行4冊・目標6冊
 6月鑑賞教室「国性爺合戦」(No.491)
 7月鑑賞教室「彦山権現誓助剣－毛谷村－」(No.492)
 10・11・12月公演「元禄忠臣蔵」(No.494)
 1月公演「梅初春五十三騎」、別冊付録「梅初春五十三騎」(未翻刻戯曲集・14) (No.497)
- ② 文楽 刊行5冊・目標4冊
 5月公演「寿柱立万歳・ひらかな盛衰記・艶容女舞衣・契情倭莊子・生写朝顔話」(No.490)
 9月公演「仮名手本忠臣蔵」(No.493)
 12月鑑賞教室「伊達娘恋緋鹿子・恋女房染分手綱」(No.495)
 12月公演「義経千本桜」(No.496)
 2月公演「奥州安達原・摂州合邦辻・妹背山婦女庭訓」(No.498)
- ③ 組踊 刊行3冊・目標2冊
 8月公演「女物狂」(No.9)
 10月公演「花売の縁」(No.10)
 1月公演「孝行の巻」(No.11)
- ④ その他(舞踊) 刊行1冊
 11月舞踊公演「舞の会－京阪の座敷舞－」(別冊)

(2) 配付実績

- ① 歌舞伎・文楽・舞踊
 出演者及び公演スタッフ：各100件程度、研究者等：各90件程度、研究機関：各60件程度
- ② 組踊
 出演者及び公演スタッフ：各60件程度、研究者等：各3件程度、研究機関：各60件程度

2. 自主公演の映像記録等の作成

(1) 収録実績

| 区 分 | 記録件数・内容 |
|----------|--|
| 本館・演芸場 | 映像・音声：70公演、舞台写真：68公演 歌舞伎衣装図鑑等：7公演、 文楽人形等：5公演 |
| 能楽堂 | 映像・音声・写真：50公演 |
| 文楽劇場 | 映像・音声：11公演、音声・舞台写真：1公演、 文楽人形等：5公演 ※自主公演は上方演芸特選会を除くすべての公演 |
| 国立劇場おきなわ | 映像・音声・写真：32公演 |

※歌舞伎公演(鑑賞教室含む)は、髪・衣裳・小道具等の写真を撮影記録(歌舞伎衣装図鑑)し、下座の附帳等を収集した。また、文楽公演(鑑賞教室含む)は、人形・大道具・小道具等の写真を撮影・記録

(2) 活用実績

① 視聴(映像資料及び音声資料)、利用数総計：3,557件

| 区 分 | 一 般 | 関係者(出演者等) | 合 計 |
|----------|----------------|--------------|------------------|
| 本館 | 658件 (1,598時間) | 434件 (586時間) | 1,092件 (2,184時間) |
| 能楽堂 | 1,327件 (41時間) | 498件 (11時間) | 1,825件 (52時間) |
| 文楽劇場 | 28件 (738時間) | 547件 (331時間) | 575件 (404時間) |
| 国立劇場おきなわ | 57件 (92時間) | 8件 (2時間) | 65件 (94時間) |

② 複製(映像資料及び音声資料)

| | |
|----------|-------------|
| 本館 | 231件 (316点) |
| 能楽堂 | 230件 (230点) |
| 文楽劇場 | 121件 (195点) |
| 国立劇場おきなわ | 110件 (866点) |

※複製は出演者に対してのみ実施。

3. 「近代歌舞伎年表」の刊行

(1) 刊行・調査実績

「近代歌舞伎年表 名古屋篇」第一巻の刊行(19年3月)
 「名古屋篇」劇界記事の作成：112件(目標100件)
 「名古屋篇」原稿作成のための興行カード作成：633件(目標600件)

(2) 配布実績

研究者・研究機関等：130件

4. 古文獻の復刻等

②伝統芸能に関する資料の
収集及び活用

振興会における自己点検評価の結果
をふまえて、委員の協議により、
評定を決定する

- (1) 刊行・調査実績
- ① 「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編 上」(歌舞伎資料選書・9)、「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編下」(歌舞伎資料選書・10)を刊行した。
 - ② 「歌舞伎俳優名跡便覧」第四次修訂版の刊行に向けて、歌舞伎俳優の襲名、改名、屋号、俳名等に関する調査を行った。
 - ③ 「伝統芸能講座」(音楽)の19年度の刊行に向けての準備として、内容から執筆陣までの概要を作成し、執筆依頼および原稿入手を行った。また、掲載する資料等の調査を行った。
 - ④ 「国立能楽堂調査研究 NGH THEATRE」第1号の創刊
創刊号には、国立能楽堂の収集資料及び展示に関する調査を依頼した研究者の報告論文(2本)及び若手能楽研究者の論文(2本)を掲載した。
- (2) 配布実績
- 「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編 上」研究者・研究機関等：151件
「六二連俳優評判記 歌舞伎新報編 下」研究者・研究機関等：151件
5. 意識調査の実施
- (1) 調査実績
- 18年6月能楽鑑賞教室公演の高校生を対象として意識調査を実施
実施場所：国立能楽堂
回答者数：1,548人(配布数1,548人、回収率100.0%)
集計結果は報告書「能楽に関する意識調査(高校生)」としてまとめた。
- (2) 配付実績
- 関係部署・機関等への配布：35件
6. 国立劇場が委嘱・初演した音楽作品の楽譜及び解説の刊行
- (1) 刊行実績
- 「現代の日本音楽 第17集(山本邦山)」(18年10月刊行)
「現代の日本音楽 第18集(湯浅譲二)」(18年12月刊行)
- (2) 配布実績
- 研究者・研究機関：400冊
- 【特記事項】
春秋社より一般へ販売している

1. 資料の収集・分類整理・閲覧

(1) 収集・閲覧の実績

① 図書収集・閲覧

| 区分 | 収集 | 閲覧 |
|------|--|---|
| 情報館 | 単行本642冊、逐次刊行物1,227冊、 筋書等1,938冊(計3,807冊) 開架図書：合計約7,200冊 | 閲覧室利用者数：3,716人 閉架図書閲覧者数：535人(2,587冊) 閲覧室開室日数：206日 |
| 能楽堂 | 単行本245冊、逐次刊行物366冊 (計611冊) 開架図書：959冊 | 図書閲覧者数：2,749名(3,183冊) 閲覧室開室日数：252日 |
| 文楽劇場 | 単行本120冊、逐次刊行物360冊、筋書 等415冊(計895冊) 普及コーナーの開架図書：794冊 | 閲覧室利用者数572人 普及コーナー利用者数：8,036人 図書閲覧者数394人(1,429冊) 図書貸出者数：114件(207冊) 閲覧室開室日数：233日 |
| おきなわ | 単行本405冊、逐次刊行物205冊、 筋書等255冊(計865冊) | 図書閲覧者数1,182人 閲覧室開室日数：169日 |

② 資料の収集・閲覧

| 区分 | 収集 | 閲覧 |
|------|--|---|
| 情報館 | 芝居版画55点、レコード・CD等37点、公演記 録等資料9,550点、その他238点(計9,880点) | 資料閲覧件数：70件(383点) 写真複製使用件数：145件(587点) |
| 能楽堂 | 公演記録資料：ビデオ等615点、写真4,113点 特別資料：装束5点、絵画・文献4点 | 特別資料閲覧件数：10件(389点) 写真複製使用件数：348件(367点) |
| 文楽劇場 | 公演記録等資料128点、視聴覚資料225点、人 形等12点、その他74点 (計439点) | 写真複製使用件数25件(107点) |
| おきなわ | 組踊等衣裳・小道具17点、沖縄芝居大道具帳 等455点、ビデオ等263点、その他375点、公 演記録等資料383点 (計1,493点) | 映像資料閲覧者数：65件(114点) 写真貸出件数：5件(16点) 映像資料貸出件数：1件(1点) 映像資料複製件数：109件(865点) 音声資料複製使用件数：1件(1点) |

【特記事項】

文楽劇場では、文楽を多くの人に知っていただけるように、出張展示を行って積極的に収集した資料等を公開している。(3件)
国立劇場おきなわレファレンスルームでは、11月よりパスカウンターを設置し、来室者数の集計を開始した。

A

2. 収集した資料の活用・刊行

(1) 芝居版画等図録
(調査実績)

第12巻に掲載予定の錦絵(約150件)を、その約3分の2については基礎データの作成・考証を行った。(カード化108件)

(2) 「鍋島家伝来雅楽器」

「能を彩る楽器—鍋島家伝来雅楽器」(平成18年10月14日～11月30日開催)のための調査結果をもとに、図録を兼ねた「鍋島家伝来雅楽器」を刊行した(18年10月)。

(活用実績) 研究者及び研究機関等へ配布し、展示に際して販売した。

(3) 「大名から侯爵へ—鍋島家の華—」

「鍋島家伝来能装束—大名から侯爵へ—」(平成19年1月6日～3月11日開催)のための調査結果をもとに、図録を兼ねた「大名から侯爵へ—鍋島家の華—」を刊行した(19年1月)。

(活用実績) 研究者及び研究機関等へ配布し、展示に際して販売した。

3. データベース化

実績

| 区 分 | 実 績 |
|--------|--|
| 図 書 | 収蔵図書15,487件(目標15,000件) 内訳:本館841 能楽堂14,646件 |
| 資 料 | 文楽劇場収蔵の文楽資料(番付)を文化デジタルライブラリーに登録 511点(目標500点) |
| 公演情報 | 次の各公演のデータを文化デジタルライブラリーに登録 歌舞伎公演(18年3月から19年1月まで):9公演 文楽公演(17年12月から18年1月まで):14公演 舞踊・邦楽公演(18年3月から19年1月まで):13公演 能・狂言公演(17年11月から18年10月まで):48公演 計84公演(目標80公演) |
| 公演記録写真 | 次の公演記録写真を文化デジタルライブラリーに登録 国立劇場で3年5月から9年2月までに撮影した文楽公演記録写真、 国立劇場で17年度に撮影した歌舞伎(鑑賞教室を含む)と文楽(鑑賞教室を含む)の公演記録写真 計19,224点(目標約18,000点) |
| 扮装図鑑 | 国立劇場で16年10月から17年7月までに上演された歌舞伎公演(鑑賞教室を含む)の「歌舞伎俳優扮装図鑑」を文化デジタルライブラリーに登録 計7公演(目標7公演) |
| 自主企画映画 | 「能面」「能装束」「狂言の扮装」「能の囃子」「狂言鑑賞入門 棒縛、宗論をみる」の5本(目標5本)を文化デジタルライブラリーに登録 |

4. 博物館施設等への資料の貸与

貸与実績

① 本館・演芸場

貸与件数:3件11点(千葉市美術館、朝霞市博物館、台東区下町風俗資料館)

貸与内容:錦絵、楽器(雅楽の笛)、小道具等。

国内のほか国際交流基金の主催のイタリア(ローマ)とハンガリー(ブダペスト)における日本芸能展示に資料の貸与、人員の派遣等全面的な協力をおこなった。

② 能楽堂

貸与件数:8件18点(霞会館・石川県立歴史博物館、福井県立歴史博物館、石川県立美術館・東京国立近代美術館・工芸館・MOA美術館、

国際交流基金パリ日本文化会館、共立女子大学、郡山市立美術館)

貸与内容:能装束類、能楽面、小鼓、絵画資料等。

③ 文楽劇場

貸与件数:3件38点(大阪ビジネスパーク「舞台芸術・芸能見本市2006大阪」、大阪市中央区役所、大阪大学付属病院)

貸与内容:人形・三味線・写真パネル等。

【特記事項】

能楽堂開場25周年にあたる平成20年度には、「国立能楽堂収蔵品」全国巡回展の実施を検討している。

5. デジタル展示

作成実績

- ・ ジオラマビジョン「能の舞台」

6. 展示公開

(1) 実績

| 区 分 | 展示公開名 | 期 間 | 入場者数 |
|-----|---------------|------------|---------|
| 本 館 | 舞台の四季 | 5/12～7/24 | 2,984人 |
| | 開場40周年記念ポスター展 | 10/3～1/27 | 4,081人 |
| 情報館 | 舞台の四季Ⅰ 春から夏へ | 4/22～7/24 | 9,575人 |
| | 舞台の四季Ⅱ 秋・冬 | 8/19～10/27 | 8,826人 |
| | 芸能資料展 | 11/3～3/24 | 11,094人 |

| | | | |
|------|---------------------------------------|-------------|---------|
| 演芸場 | 落語の四季 春・夏 | 4/1～6/20 | 7,743人 |
| | 演芸入門 | 7/2～9/20 | 6,860人 |
| | 落語の四季 秋・冬 | 10/1～12/20 | 8,699人 |
| | 演芸資料展 | 1/2～3/20 | 8,869人 |
| 能楽堂 | 能楽入門Ⅰ—平家物語と能— | 4/29～6/25 | 6,128人 |
| | 能楽入門Ⅱ | 7/5～8/5 | 3,479人 |
| | 能を彩る楽器—鍋島家伝来雅楽器 | 10/14～11/30 | 4,820人 |
| | 鍋島家伝来能装束—大名から侯爵へ— | 1/6～3/11 | 7,948人 |
| 文楽劇場 | 企画展示「文楽の三味線展」 | 4/1～5/13 | 11,354人 |
| | 同時開催「文楽入門」 | | |
| | 常設展示「文楽入門Ⅰ」 | 6/7～8/9 | 16,547人 |
| | ＜企画コーナー＞大阪の夏祭 | | |
| | 常設展示「文楽入門Ⅱ」 | 8/19～10/14 | 6,840人 |
| | ＜企画コーナー＞「相國寺の観音懺法」 | | |
| | 企画展示「伊賀越道中双六～仇討鍵屋の辻～」 | 11/4～12/9 | 12,719人 |
| おきなわ | 同時開催「文楽入門」 | | |
| | 常設展示「文楽入門Ⅲ」 | 1/3～3/9 | 17,344人 |
| | ＜企画コーナー＞壺坂観音靈験記 | | |
| | 第1回企画展「組踊の世界Ⅲ」 | 4/14～6/26 | — |
| | 第2回企画展「沖縄の楽器と写真」 | 7/7～9/25 | — |
| | 第3回企画展「琉球舞踊の世界Ⅲ」 | 10/6～12/25 | 3,798人※ |
| | 第4回企画展「特別展・沖縄芝居の軌跡」 (国立劇場おきなわ収蔵品等) | 1/12～3/27 | 4,497人 |

※国立劇場おきなわ資料展示室については、年度途中（18年11月）よりカウント開始。

(2) 目録等刊行物の実績

本館：図録（「舞台の四季」、「開場40周年ポスター展」）

伝統芸能情報館：目録（「舞台の四季Ⅰ春から夏へ」、「舞台の四季Ⅱ秋・冬」「芸能資料展」）

演芸場：目録（「落語の四季 春・夏」、「演芸入門」、「落語の四季 Ⅱ秋・冬」「演芸資料展」）

能楽堂：展示関連図録（「鍋島家伝来雅楽器」、「大名から侯爵へ」）

目録（「能楽入門Ⅰ—平家物語と能—」、「能楽入門Ⅱ」、「能を彩る楽器」）

【特記事項】

文楽の公演期間中に合わせ、展示室において「文楽応援団」によるボランティアの解説を行った。

展示公開状況

100%以上

70%以上
100%未満

70%未満

【展示公開状況】実績22回／計画22回（100.0%）

A

(2) 現代舞台芸術に関する調査研究
の実施並びに資料の収集及び活用

振興会における自己点検評価の結果
をふまえつつ、委員の協議により、
評定を決定する

1. 調査研究

- (1) 主催公演情報のデータベース化：公演情報32件、出演者情報1,641件
- (2) 上演作品に関する公演資料の調査・収集：チラシ等499件、ポスター163件
- (3) 資料交換：送付団体数434件、受領団体数278件
- (4) 刊行物：「日本洋舞史年表Ⅳ-1 1976-1978」、「日本洋舞史年表Ⅳ-2 1979-1980」
- (5) オペラハウスデータベース 登録件数：3件

2. 資料の収集

- (1) 収集実績・活用状況
 - ① 収集 図書：2,849冊、資料：392件
 - ② 閲覧 情報センター：閲覧室32,523人、ビデオブース4,034人、ビデオシアター3,609人
※ビデオブース、ビデオシアターの利用者数は閲覧室利用者数の内数

図書貸出875件(1,541冊)

舞台美術センター：AVコーナー495人

(2) データベース化状況

- ① 主催公演記録映像51件、② 資料紹介1件

(3) 展示実績

- ① 常設展 舞台美術センター資料館 2回（計画2回） 来場者1,100人
- ② 企画展 舞台美術センター資料館 1回（計画1回） 来場者549人（常設展来場者数の内数）
- ③ その他の展示

・巡回展（実施3会場、計画3会場）

松本市民芸術館（松本市）、生活支援型文化施設コンカリーニョ（札幌市）、小美玉市四季文化館みのーれ（小美玉市）

・主催公演のうち代表的な演目の舞台衣装を、展示台2台、マネキン4体を増設して、新国立劇場エントランスギャラリーで展示。

3. 外部専門家等の意見

識者に新国立劇場調査事業専門委員を委嘱し、平成19年4月に各委員から平成18年度の事業についての意見や評価等を聴取した。

(1) 現代舞台芸術に関する調査研究

主催公演上演情報（公演情報、出演者情報）、オペラハウスデータベース、主催公演映像記録のデータ化については順調に進んでいる。

主催公演に係る資料の収集整理を優先的に行うのは結構。単に資料の交換にとどまらず、情報のネットワーク作りまで見据えた見直しを図るべきではないか。

A

新国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、一定の成果があがっているものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】

・蓄積が浅いため、更なる成果と利用者のための広報の努力が期待される。

・現状では新国立劇場の公演記録のみを行っているが、我が国の舞台芸術記録を行っている機関がないことも踏まえ、中長期的観点から、今後の方向性を策定することが期待される。

| | | | |
|-----------------------------|---|---|----------|
| | | <p>日本近代の舞踊上演に関する資料の調査や報告書の作成は、当初5カ年で計画し、今年度で4年目を迎える事業である。我が国における洋舞史のまとまった資料としては画期的なものである。そろそろ情報の補充・訂正等につき検討を開始するべきではないか。</p> <p>(2) 現代舞台芸術に関する資料の収集及び活用</p> <p>主催公演に係る資料の収集を優先的に行うのは結構。財団内の各部署が業務用で購入した雑誌類を閲覧室が受け入れたように、今後も効率的な収集を望む。閲覧室に複写機設備はできないか検討して欲しい。</p> <p>著作権については、近年さかんに論議されているところであるので、慎重な対応をお願いしたい。</p> <p>主催公演の開催に併せて資料を作成することは、作品理解を促すうえから非常に有効であるので、上演資料集作成をぜひ考えてほしい。</p> <p>巡回展は、現代舞台芸術の理解促進に役立つのみならず、新国立劇場の認知度向上にもつながる。その効果を高めるため、例えば、全国公演とあわせて実施する等考える余地がある。</p> <p>4. アンケート調査 情報センター利用に関するアンケート（3月1日～3月18日：18日間） 回答数 287人。回答者の95.5%が概ね満足と回答した（274人）。</p> | |
| <p>①現代舞台芸術に関する調査研究の実施</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <p>1. 公演情報のデータベース化</p> <p>(1) 公演情報：32件 (内 訳) オペラ：12件 「ドン・カルロ」、「フィガロの結婚」、「イドメネオ」、「フィデリオ」、「セビリアの理髪師」、「さまよえるオランダ人」、「運命の力」、「蝶々夫人」、「西部の娘」、「ばらの騎士」、「ファルスタッフ」、小劇場オペラ「フラ・ディアヴォロ」</p> <p>舞 踊：11件 「ライモンダ」、「白鳥の湖」、「シンデレラ」、「眠れる森の美女」、「オルフェオとエウリディーチェ」、「ローラン・プティの Coppélia」、「ドン・キホーテ」、「DANCE EXHIBITION2006」、勅使川原三郎「ガラスノ牙」(Glass Tooth)、「如風～inside of wind～」、「Life Casting—型取られる生命—」</p> <p>演 劇：9件 「アジアの女」、「シラノ・ド・ベルジュラック」、「イワーノフ／オイディプス王」、「エンジョイ」、「コペンハーゲン／COPENHAGEN」、「CLEAN SKINS/きれいな肌」、「下周村一花に嵐のたとえもあるさー」、「夏の夜の夢」、「氷屋来たる」</p> <p>(2) 出演者情報：1,641件 (内 訳) オペラ：505件、舞踊：775件、演劇：361件</p> <p>2. 上演作品に関する公演資料の収集整理 公演資料の収集整理 新国立劇場主催公演の演目に関する情報を最優先して収集整理にあたった。</p> <p>① チラシ等： 499件 (内 訳) オペラ：132件、舞踊：103件、演劇：205件、その他：59件</p> <p>② ポスター： 163件 (内 訳) 国内上演ポスター：123件、海外上演ポスター： 40件</p> <p>3. 団体・劇場との資料交換 新国立劇場の主催公演関係資料(プログラム、チラシ、年報、公演カレンダー等)を年2回、国内外の現代舞台芸術団体及び劇場へ送付し、見返りに先方の公演関係資料を新国立劇場宛送付してもらう。</p> <p>なお、今年度より資料送付に際し、可能な限り先方担当者名を記した宛名で送付した。</p> <p>(1) 送付団体数：434件 (内 訳) 国内芸術団体：114件、国内劇場：107件、海外劇場：213件</p> <p>(2) 受領団体数：278件 (内 訳) 国内芸術団体：153件、国内劇場： 69件、海外劇場： 56件</p> <p>4. 日本近代の舞踊上演に関する資料の調査、報告書の作成</p> <p>(1) 日本近代の舞踊上演に関する資料の調査、報告書作成 「日本洋舞史年表Ⅳ-1 1976-1978」「日本洋舞史年表Ⅳ-2 1979-1980」2分冊での刊行</p> <p>(2) 研究者・研究団体等に配付（383件）</p> <p>(3) 前年度に刊行した「日本洋舞史年表Ⅲ 1970-1975」をホームページに掲載し、広く一般に公開した。</p> <p>5. オペラハウスデータベースの整備</p> <p>(1) 海外劇場調査 平成18年度は、ヨーロッパの音楽祭（オペラ・フェスティバル）について、企画立案・運営・舞台制作等多様な面からの調査を実施した。 (調査対象) シーズン制をとっている歌劇場が主催する音楽祭 バイエルン州立歌劇場（ドイツ）、チューリッヒ歌劇場（スイス） オペラ公演が主体の音楽祭 エクサン・プロヴァンス音楽祭（フランス）</p> <p>(2) データベース化 同時に上記3件につきオペラハウスデータベースに登録した。</p> | <p>A</p> |
| <p>②現代舞台芸術に関する資料の収集及び活用</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <p>1. 資料の収集、閲覧</p> <p>(1) 収集 新国立劇場主催公演に関する上演資料のほか、我が国の現代舞台芸術に関する資料を収集した。 ・図 書：2,849冊</p> | <p>B</p> |

(内 訳) 単行本：831冊、逐次刊行物：1,094冊、筋書・番組：161冊、公演・演出台本：763冊

・資料：392件

(内 訳) 主催公演記録映像：51件、市販映像：341件

(2) 閲覧

図書については、新国立劇場情報センター閲覧室で閲覧に供している。

3月期は試験的に休室日(毎週水曜日)を見直し、水曜日がオペラ劇場主催公演開催日にあたる場合、休室日を他の曜日に振替え、観劇客への便宜を図った。

・情報センター閲覧室利用者数 : 32,523人(開室日数295日/年)

・情報センター図書貸出件数 : 875件(1,541冊)

2. 主催公演記録映像等のデータベース化

現代舞台芸術情報システムにより、主催公演記録映像等各種情報をデータベース化し、劇場施設内においてコンピュータ端末を用いて一般の視聴に供している。

(1) 主催公演記録映像のデータ化

データ化件数：51件

(内 訳)

オペラ：19件

「ホフマン物語(字幕入り)」、「愛怨(Bキャスト)」、「魔笛(字幕入り)」、「コジ・ファン・トゥッテ(字幕入り)」、「愛怨(字幕入り)」、「運命の力(字幕入り)」、「カヴァレリア・ルスティカーナ/道化師(字幕入り)」、「こうもり(字幕入り)」、高校生のためのオペラ鑑賞教室「カヴァレリア・ルスティカーナ(字幕入り)」、こどもオペラ劇場「スペース・トゥーランドット(Aキャスト)」、こどもオペラ劇場「スペース・トゥーランドット(Bキャスト)」、「ドン・カルロ」、「ドン・カルロ(字幕入り)」、「イドメネオ」、「イドメネオ(字幕入り)」、「フィデリオ」、「セビリアの理髪師」、「フィデリオ(字幕入り)」、「セビリアの理髪師(字幕入り)」

舞 踊：15件

「バレエ・ブルジョアージュ『NJ』」、「バレエ・ブルジョアージュ『四季』」、「ナチョ・ドゥアトの世界(Aキャスト)」、「ナチョ・ドゥアトの世界(Bキャスト)」、「ジゼル」、「きらめく背骨」、「DANCE EXHIBITION 2006(Aプロダクション)」、「DANCE EXHIBITION 2006(Bプロダクション)」、「ライモンダ」、「白鳥の湖(Aキャスト)」、「白鳥の湖(Bキャスト)」、「白鳥の湖(Cキャスト)」、「眠れる森の美女」、「ガラスノ牙」、「如風～inside of wind～」

演 劇：11件

「十二夜」、「ガラスの動物園」、「カエル」、「マテリアル・ママ」、「INTO THE WOODS」、「やわらかい服を着て」、「夢の痲」、「アジアの女」、「イワーノフ/オイディプス王」、「シラノ・ド・ベルジュラック」、「エンジョイ」

その他：6件

バレエ研修所3期生(1年次)発表会、
オペラ研修所2006年3月研修公演「ブッチーニのバリ(Aキャスト)」、
オペラ研修所2006年3月研修公演「ブッチーニのバリ(Bキャスト)」、
バレエ研修所3期生(1年次)発表会、オペラ研修所7月リサイタル(試演会)、
オペラ研修所11月リサイタル

(2) 視聴

映像資料は、情報センター内ビデオブース、ビデオシアターで視聴に供しているが、舞台美術センター資料館(千葉県銚子市)内AVコーナーでも同様に広く一般の視聴に供している。

また、平成18年度より情報センターの運用が財団に委託されたことに伴い、平成16年度以来有償だった映像の視聴を無償化することとした。これにより、有償化されて以来視聴に供することが滞っていた平成16年度以降の主催公演記録映像を提供できることになった。

利用件数

・情報センター

ビデオブース利用者数 : 4,034人(開室日数295日/年)

ビデオシアター利用者数 : 3,609人(開室日数 ")

・舞台美術センターAVコーナー利用者数 : 495人(開室日数294日/年)

3. 作品解題、資料紹介データの作成

(1) 作品解題

実績なし。平成19年度が新国立劇場開場10周年にあたることから、次年度に2点以上の作成を企画することとした

(2) 資料紹介

平成18年度に収集した2005年現代演劇ポスターについての情報(上演内容に関する情報、ポスターのデザイン等に関する情報)とポスター画像をデータ化した。

4. 展示公開

(1) 現代舞台芸術に対する一般の理解を促進するため、収集した資料(主催公演に関する衣裳・舞台装置等の舞台美術等)及び関係資料を舞台美術センター資料館(千葉県銚子市)で展示公開するとともに、所蔵している演劇ポスターを素材とした巡回展示を実施し、現代舞台芸術の理解促進と併せて新国立劇場の認知度向上の一助とした。

また、2階(指揮者、バレエダンサー)、5階廊下の写真(舞台写真)の更新を定期的に行い、主催公演実施時にオペラ劇場並びに中劇場ロビーで開催される展示に積極的に情報センター所蔵資料を提供した。

新国立劇場3階ギャラリーのマネキン等展示台の増設(2基)に伴い、展示マネキンを4体追加した。

① 常設展2回(計画2回)、入場者 1,100人

・「オペラハウスの感動」平成18年4月1日～平成19年3月31日 ※平成16年度より継続

・「現代演劇ポスター展 2005」平成18年10月28日～平成19年3月31日 ※平成19年度まで継続

② 企画展1回(計画1回)、入場者 549人

・「新国立劇場のモーツァルト」平成18年10月28日～平成19年3月31日 ※平成19年度まで継続

③ その他の展示

| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・巡回展「現代演劇ポスター展－新国立劇場所蔵品による－」（実施3会場、計画3会場） まつもと市民芸術館（平成18年4月21日～平成18年5月7日・17日間）、3,716人 生活支援型文化施設 コンカリーニョ（平成18年5月14日～平成18年5月21日・8日間）、198人 小美玉市四季文化館(みのーれ)（平成19年3月21日～平成19年3月31日・12日間）、2,463人 ※小美玉市については平成19年度（4月1日）まで継続 ④ その他の展示 ・2階（指揮者、バレエダンサー）、5階廊下の写真（舞台写真）の更新を定期的に行い、主催公演実施時にオペラ劇場並びに中劇場ロビーで開催される展示に積極的に情報センター所蔵資料を提供した。 ・新国立劇場3階ギャラリーのマネキン等展示台の増設（2基）に伴い、展示マネキンを4体追加した。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------|-----------|---|-----------------|--|--|----|------|-----|-----|-------|-----|-----|-------|-------|------|-----|-------|-----|-----|-----|-------|-----|------|-----|-------|------|-----|-----|-------|----------|-----|-----|-------|-------------|-----|-----|-------|-------------|-----|-----|-------|------------|----|----|--------|----------|-----|-----|--------|----------|-----|-----|--------|----|------|------|-------|---|---|--|
| | 展示公開状況 | 100%以上 | 70%以上 100%未満 | 70%未満 | 【展示公開状況】実績4回/計画4回（100.0%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 5. 劇場施設の利用 | 劇場施設の貸与等 | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | | | <p>1. 貸与実績 ※（ ）内は年度計画における目標</p> <p>① 本館大劇場 貸与日数：131日（117日）利用率：94%（85%）</p> <p>② 本館小劇場 貸与日数：146日（147日）利用率：90%（90%）</p> <p>③ 演芸場 貸与日数：96日（82日）利用率：93%（85%）</p> <p>④ 能楽堂本舞台 貸与日数：199日（176日）利用率：91%（85%）</p> <p>⑤ 文楽劇場 貸与日数：125日（127日）利用率：90%（80%）</p> <p>⑥ 文楽劇場小ホール 貸与日数：100日（112日）利用率：58%（60%）</p> <p>⑦ 国立劇場おきなわ大劇場 貸与日数：71日（80日）利用率：54%（60%）</p> <p>⑧ 国立劇場おきなわ小劇場 貸与日数：55日（25日）利用率：66%（30%）</p> <p>⑨ 新国立劇場オペラ劇場 貸与日数：41日（41日）利用率：100%（100%）</p> <p>⑩ 新国立劇場中劇場 貸与日数：123日（88日）利用率：85%（75%）</p> <p>⑪ 新国立劇場小劇場 貸与日数：69日（63日）利用率：75%（65%）</p> <p>※ 合計 貸与日数：1,156日（1,058日）利用率：81%（74%）</p> <p>2. 利用情報の提供</p> <p>17年度に引き続き、施設・設備等の概要及び貸与手続き等のホームページ掲載、利用団体への案内の送付、劇場利用パンフレットの作成・配布、過去の利用者への空き日等の情報提供、19年度・20年度の利用申込みの受付を実施、国立劇場おきなわにおいては劇場平面図や予約申込書のホームページからのダウンロードによる提供をしたほか、貸劇場公演情報、本館・演芸場・能楽堂・文楽劇場では施設の空き日情報をホームページに掲載し、情報提供の充実を図った。また、施設の空き情報をキャンセル待ちの利用希望者に常に提供し、より利用が促進されるよう努力した。</p> <p>3. 関連サービスの提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入場券の作成、販売及び点検作業 ・場内のアナウンス及び案内業務 ・舞台機構操作、照明操作、音響操作 ・備品の貸出 ・クロークサービス（新国立劇場） ・舞台関係の技術協力（国立劇場） <p>本館：照明74件、音響28件、美術6件、舞台監督等2件、その他（つけ打ち・狂言補助等）18件</p> <p>4. 利用料金に関する調査</p> <p>他の劇場施設等の利用方法、利用料金等について、近隣施設への電話問合せ及び各施設のホームページにより適宜調査を行った。</p> <p>5. アンケート調査</p> <p>全劇場利用者に対して、随時サービス等に関するアンケート調査を実施した。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>配布件数</th> <th>回答数</th> <th>回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>本館大劇場</td> <td>48件</td> <td>14件</td> <td>29.2%</td> </tr> <tr> <td>本館小劇場</td> <td>105件</td> <td>30件</td> <td>28.6%</td> </tr> <tr> <td>演芸場</td> <td>56件</td> <td>27件</td> <td>48.2%</td> </tr> <tr> <td>能楽堂</td> <td>119件</td> <td>60件</td> <td>50.4%</td> </tr> <tr> <td>文楽劇場</td> <td>89件</td> <td>19件</td> <td>21.3%</td> </tr> <tr> <td>文楽劇場小ホール</td> <td>72件</td> <td>17件</td> <td>23.6%</td> </tr> <tr> <td>国立劇場おきなわ大劇場</td> <td>33件</td> <td>14件</td> <td>42.4%</td> </tr> <tr> <td>国立劇場おきなわ小劇場</td> <td>25件</td> <td>11件</td> <td>44.0%</td> </tr> <tr> <td>新国立劇場オペラ劇場</td> <td>5件</td> <td>5件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>新国立劇場中劇場</td> <td>21件</td> <td>21件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>新国立劇場小劇場</td> <td>15件</td> <td>15件</td> <td>100.0%</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>603件</td> <td>233件</td> <td>38.6%</td> </tr> </tbody> </table> <p>6. 利便性の向上のための検討等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本館、演芸場、能楽堂及び文楽劇場の施設利用に係る業務について、施設利用システムを導入した。 <p>顧客情報管理、劇場施設管理、料金管理、入場券発券機能、各種統計データの出力機能により、業務を効率的に行う体制を構築した。本格稼働に向け、顧客情報の遡及入力及び確認、各機能の試験運転及び調整を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設利用規程を劇場利用のシステム化にあわせて整備した。 ・舞台備品等の使用料見直しを行った。（本館・演芸場・能楽堂・文楽劇場・国立劇場おきなわ） | 区分 | 配布件数 | 回答数 | 回収率 | 本館大劇場 | 48件 | 14件 | 29.2% | 本館小劇場 | 105件 | 30件 | 28.6% | 演芸場 | 56件 | 27件 | 48.2% | 能楽堂 | 119件 | 60件 | 50.4% | 文楽劇場 | 89件 | 19件 | 21.3% | 文楽劇場小ホール | 72件 | 17件 | 23.6% | 国立劇場おきなわ大劇場 | 33件 | 14件 | 42.4% | 国立劇場おきなわ小劇場 | 25件 | 11件 | 44.0% | 新国立劇場オペラ劇場 | 5件 | 5件 | 100.0% | 新国立劇場中劇場 | 21件 | 21件 | 100.0% | 新国立劇場小劇場 | 15件 | 15件 | 100.0% | 合計 | 603件 | 233件 | 38.6% | B | B | <p>劇場施設の貸与日数を増やす努力など、国立劇場、新国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、おおむね一定の成果があがっているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <p>オペラ劇場については、昨年に比し大幅な貸与日数増が図られているが、要望は依然大きいと思われるので、可能な範囲で更に貸与日数を増やす工夫が望まれる。ただし、あくまでも芸術を創造するための施設であり、芸術の質を確保する努力を今後も続ける必要がある。</p> |
| 区分 | 配布件数 | 回答数 | 回収率 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本館大劇場 | 48件 | 14件 | 29.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 本館小劇場 | 105件 | 30件 | 28.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 演芸場 | 56件 | 27件 | 48.2% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 能楽堂 | 119件 | 60件 | 50.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文楽劇場 | 89件 | 19件 | 21.3% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文楽劇場小ホール | 72件 | 17件 | 23.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国立劇場おきなわ大劇場 | 33件 | 14件 | 42.4% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 国立劇場おきなわ小劇場 | 25件 | 11件 | 44.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新国立劇場オペラ劇場 | 5件 | 5件 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新国立劇場中劇場 | 21件 | 21件 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新国立劇場小劇場 | 15件 | 15件 | 100.0% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 603件 | 233件 | 38.6% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 劇場施設の貸与状況 | 74%以上 | 52%以上 | 52%未満 | 【劇場施設の貸与状況】実績利用率81%/計画利用率74%（達成度109.5%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

74%未満

6. 附帯する業務

(1) 教育普及事業の実施

振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する

1. 講座等の実施

(1) 伝統芸能及び現代舞台芸術に関する理解の促進と普及を図るための講座等

| 名 称 | 回数 | 参加者数 | 有意義であったとの回答割合 |
|-------------------------|-----|--------|---------------|
| 伝統芸能講座（本館） | 6回 | 721人 | 平均83.6% |
| 伝統芸能関連講座（本館） | 5回 | 396人 | 平均87.0% |
| 公演記録鑑賞会（本館） | 12回 | 969人 | 平均86.5% |
| 能楽鑑賞講座（能楽堂） | 2回 | 1,896人 | 平均92.4% |
| 能楽鑑賞特別講座（能楽堂） | 1回 | 151人 | - |
| 公演記録鑑賞会（文楽劇場） | 12回 | 1,459人 | 平均93.7% |
| 公演記録鑑賞会（国立劇場おきなわ） | 4回 | 569人 | 平均77.0% |
| オペラを楽しむ集い（舞台美術センター） | 1回 | 314人 | 平均96.9% |
| DVD現代舞台芸術鑑賞会（舞台美術センター） | 12回 | 88人 | 平均100.0% |
| 現代舞台芸術入門講座（新国立劇場情報センター） | 3回 | 69人 | 平均100.0% |
| 合 計 | 68回 | 6,632人 | 平均87.4% |
| 目 標 | | 5,900人 | 70%以上 |

※ 詳細は別表「講座等一覧」を参照。

【特記事項】

能楽鑑賞講座については、会場（能楽堂大講義室）の定員を超える参加希望者があるため、別室を利用してモニターによる聴講ができるよう対応し、できる限り多数が参加できるよう工夫した。

(2) 公演内容に対する理解の促進を図るための講座等

| 名 称 | 回数 | 参加者数 |
|---------------------------------|----|--------|
| 文楽劇場プレ講座（9月声明公演、5月舞踊・邦楽公演） | 2回 | 245人 |
| オペラトーク（「こうもり」ほか） | 5回 | 466人 |
| シアタートーク（「カエル」ほか） | 6回 | 1,540人 |
| ストーリー解説「こうもり」 | 1回 | 100人 |
| ものがたり説明会（「ドン・カルロ」「イドメネオ」） | 2回 | 143人 |
| オペラプロローグ「運命の力」 | 1回 | 55人 |
| 鈴木忠志スペシャルトーク「演劇を語る」（11/4～11/12） | 7回 | 1,866人 |
| バレエとミュージカルのつぼ | 2回 | 64人 |

(3) 公演内容に対する理解の促進を図るための展示

公演に合わせて、新国立劇場のホワイエ等において特設展示を実施した。

- ・ ヨハン・シュトラウスⅡ世が活躍したウィーンの街の風景（オペラ劇場）
- ・ オペラ&バレエ「こうもり」の比較（オペラ劇場）
- ・ 新国立劇場ヴェルディ作品の舞台写真（オペラ劇場）
- ・ 新国立劇場モーツァルト作品の舞台写真と「イドメネオ」関連書籍（オペラ劇場）
- ・ イタリア歌劇団来日公演プログラム（オペラ劇場）
- ・ 来シーズンのオペラ公演ラインナップ紹介（オペラ劇場）
- ・ 劇場所蔵品（オペラグラス等）の紹介（オペラ劇場）
- ・ 新国立劇場バレエ団クイズに関する展示（オペラ劇場）
- ・ 新国立劇場バレエ団ダンサー紹介（オペラ劇場）
- ・ バレエ公演「シンデレラ」出演ダンサー紹介（オペラ劇場）
- ・ バレエ公演「シンデレラ」舞台写真と「シンデレラ」関連書籍（オペラ劇場）
- ・ バレエ公演「眠れる森の美女」舞台写真とペロウ童話の主人公たち（オペラ劇場）
- ・ 来シーズンのバレエ公演ラインナップ紹介（オペラ劇場）
- ・ バレエ公演「オルフェオとエウリディーチェ」衣装画及びバレエ公演「椿姫」装置画（オペラ劇場）
- ・ ドミニク・ウォルシュの紹介（中劇場）
- ・ バレエ公演「コッペリア」舞台写真（中劇場）
- ・ 現代舞踊公演「Life Casting」の紹介（中劇場）
- ・ 「Into the Woods」舞台小道具及び初演ビデオ（小劇場）

2. デジタルコンテンツの作成等

(1) デジタルコンテンツの作成

デジタル技術により教育普及を目的としたコンテンツを次のとおり作成した。

- ・ 舞台芸術教材「日本の伝統音楽－歌唱編－」
- ・ 舞台芸術教材「演目解説 勸進帳」
- ・ ユネスコ世界遺産コンテンツ「歌舞伎への誘い」

(2) インターネットによる配信

① 配信実績

文化デジタルライブラリーとして、インターネットを通じて学校教育機関や一般へ配信した。

アクセス件数：383,746件（目標170,000件）

② 活用事例

小中学校等において音楽や総合学習の授業のなかで和楽器や歌舞伎の演技の説明に利用され、高校の演劇をテーマとした総合学習のなかで素材として利用されている。また、歌舞伎鑑賞教室等の芸術鑑賞教室の事前指導、大学のゼミ発表、社会教育の現場等において、解説等の素材と

A

A

国立劇場、新国立劇場の役割を踏まえた事業目的に沿って、着実に成果があがっているものと認められる。

【より良い事業とするための意見等】
観客の多様性に配慮しながら、多様な企画の教育普及事業の実施が望まれる。

| | | | | して活用されている。 ③ 広報・告知等 コンテンツの概要を紹介するパンフレットを新たに作成して国立劇場の各施設に設置したほか、全国の小・中・高等学校（約15,000校）及び生涯学習関係機関（約200機関）へのアンケート・メールの配信により、教育現場の意向を調査すると同時に文化デジタルライブラリーの周知を行った。 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|--------------------------|------------|---|-----|--------|--------|-----------------|------------|------|-------------|----------|------|-------|------------|------|-----|------------|------|---|--------------------------------|
| 講座等の実施状況 | 66回以上 | 46回以上 66回未満 | 46回未満 | 実績68回／計画66回（達成度103.0%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講座等の参加者数 | 5,900人以上 | 4,130人以上 5,900人未満 | 4,130人未満 | 実績6,632人／目標5,900人（達成度112.4%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 講座等の参加者の満足度 | 70%以上 | 50%以上 70%未満 | 50%未満 | 実績87.4%／目標70%以上 | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 舞台芸術教材の作成状況 | 100%以上 | 70%以上 100%未満 | 70%未満 | 実績3件／計画3件（達成度100.0%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 文化デジタルライブラリーへのアクセス状況 | 170,000件以上 | 119,000件以上 170,000件未満 | 119,000件未満 | 実績383,746件／目標170,000件（達成度225.7%） | A | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (2) 広報活動の充実 | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | | | <p>1. 広報誌を次のとおり発行・配布した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「日本芸術文化振興会ニュース」（毎月発行） 「芸術文化振興基金 No.21」（18年6月作成） 「ステージノート」（新国立劇場、毎月発行） 「独立行政法人日本芸術文化振興会概要」（18年5月作成） 「独立行政法人日本芸術文化振興会要覧」（18年7月作成） 「独立行政法人日本芸術文化振興会年報 平成17年度」（18年11月作成） 「新国立劇場年報 平成17年度」（18年9月作成） 「新国立劇場年報 2005年度(英語版)」（18年12月作成） <p>2. ホームページの運用</p> <p>(1) アクセス件数・情報更新に要する日数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>アクセス件数</th> <th>情報更新日数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>日本芸術文化振興会ホームページ</td> <td>1,561,998件</td> <td>2.1日</td> </tr> <tr> <td>新国立劇場ホームページ</td> <td>798,583件</td> <td>1.7日</td> </tr> <tr> <td>合計・平均</td> <td>2,360,581件</td> <td>1.9日</td> </tr> <tr> <td>目 標</td> <td>1,400,000件</td> <td>7.0日</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) ホームページの主な充実内容</p> <p>① 振興会ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> 振興会のトップページのほかに、国立劇場開場40周年の広報活動として、各劇場の記念公演や関連する展示・講座等の催事情報を集約した「国立劇場開場40周年記念特集サイト」を振興会ホームページ内に開設し、一般に広く発信することで、40周年を契機とした来場の促進を図った。 部分的に外部発注をしていたホームページの更新作業を内部処理に変更したことにより、公演情報の更新等について、柔軟性の確保及び迅速化が図られ、効率的に実施した。 公演情報については、ジャンル別検索機能を追加し、利用者が必要とする情報に容易にアクセスできるよう改善した。 更新情報自動確認機能（RSS）を追加し、利用者の利便性の向上を図った。 <p>② 新国立劇場ホームページ</p> <ul style="list-style-type: none"> インターネット検索に対応した構造に改修し、検索エンジンに適合し、より検索しやすくなるよう改善を図った。 昨年度より掲載情報（ニュース・公演案内・公演記録）の即時性を高めるため、各部署が直接入力・更新できるようコンテンツマネジメントシステムを導入しているが、システムを更に改修し、より迅速かつ安定して行えるようになった。 トップページの写真やバーナーを公演やイベントに関係のあるものに適宜変更するとともに、配信する動画や再演演目の紹介等に、過去の公演記録映像を使用するなど、より視聴覚に訴えるデザインとした。 首都圏以外に在住の観客向けのページを設け、首都圏以外からの来場者が増加するように努めた。 <p>(3) メールマガジンの発信 (国立劇場) メールマガジンの配信（月2回）が定着し、ホームページと連携した能動的な情報提供が可能となった。また、メールマガジンのバックナ</p> | 区 分 | アクセス件数 | 情報更新日数 | 日本芸術文化振興会ホームページ | 1,561,998件 | 2.1日 | 新国立劇場ホームページ | 798,583件 | 1.7日 | 合計・平均 | 2,360,581件 | 1.9日 | 目 標 | 1,400,000件 | 7.0日 | A | 事業目的に沿って、着実に成果があがっているものと認められる。 |
| 区 分 | アクセス件数 | 情報更新日数 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本芸術文化振興会ホームページ | 1,561,998件 | 2.1日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 新国立劇場ホームページ | 798,583件 | 1.7日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計・平均 | 2,360,581件 | 1.9日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 目 標 | 1,400,000件 | 7.0日 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | | |
|---------------------------|---|---|--|--------|---|----------|
| | | <p>ンバーをホームページ上で公開し、登録者以外にも情報を提供するとともに、登録者の利便性の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録会員数 2,235人(19年3月31日現在) <p>(新国立劇場)</p> <p>劇場愛好者に対し、公演情報を定期的に配信するとともに、新規情報を迅速に伝達するために、「eメールクラブ」を立ち上げ、原則として第2・4木曜日に、メールマガジンを配信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録会員数 3,017人(19年3月31日現在)。 <p>また、25才以下を対象に、登録者に公演初日約2週間前に空席がある場合に特別料金で観劇できる情報をメールで案内する「アカデミック・プラン」を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録者数 2,160人(19年3月31日現在) <p>(4) その他の広報活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 新国立劇場ホームページと科学技術振興機構、東京商工会議所、国際交流基金等の団体のホームページとのリンクを行うとともに、それらの団体の広報紙にも新国立劇場の公演情報を掲載してもらう等、新国立劇場の認知度向上に努めた。 新国立劇場2007/2008シーズンのラインアップを発表するとともに、開場10周年記念事業について、報道関係者に対し説明を行った(19年1月24日)。また、財団理事会・評議員会開催後、報道関係者に対し、議事内容説明会(ブリーフィング)を行った。 新国立劇場開場10周年記念マークを作成する等、開場10周年を外部にアピールする活動を始めた。 | | | | |
| <p>決定からホームページへの掲載まで期間</p> | <table border="1"> <tr> <td>7日未満</td> <td>7日以上 9日未満</td> <td>9日以上</td> </tr> </table> | 7日未満 | 7日以上 9日未満 | 9日以上 | <p>実績1.9日/目標7.0日</p> | <p>A</p> |
| 7日未満 | 7日以上 9日未満 | 9日以上 | | | | |
| <p>ホームページへのアクセス件数</p> | <table border="1"> <tr> <td>140万件以上</td> <td>98万件以上 140万件未満</td> <td>98万件未満</td> </tr> </table> | 140万件以上 | 98万件以上 140万件未満 | 98万件未満 | <p>実績2,360,581件/目標1,400,000件(達成度168.6%)</p> | <p>A</p> |
| 140万件以上 | 98万件以上 140万件未満 | 98万件未満 | | | | |
| <p>(3) 交流事業の実施状況</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する</p> | <p>1. 交流公演の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 「アジア・太平洋地域の芸能・日中伝統演劇交流会 ～ 組踊と梨園劇～」 <ul style="list-style-type: none"> 10月28日、2回、国立劇場おきなわ大劇場、共催＝文化庁舞台芸術国際フェスティバル実行委員会 ダンス・プラネットNo.21「DANCE EXHIBITION 2006」 <ul style="list-style-type: none"> 9月15日～19日、4回、新国立劇場小劇場、共催＝文化庁舞台芸術国際フェスティバル実行委員会 <p>2. 平成18年度日独青少年指導者セミナー(芸術分野)の実施</p> <p>17年度に引き続き国際交流事業「日独青少年指導者セミナー」の芸術分野を、文部科学省からの受託事業として実施した。</p> <p>(1) 受入事業</p> <p>5月20日～6月3日、ドイツ演劇関係者5名</p> <p>国立劇場、国立劇場おきなわ、新国立劇場の視察及び観劇、児童青少年演劇観劇及び関係者との意見交換、ワークショップへの参加、学校訪問、評価会等を実施した。また、沖縄滞在プログラムにおいて、組踊研修事業の視察、高等学校及び公民館等の訪問のほか、ホームステイを実施した。</p> <p>(2) 派遣事業</p> <p>10月7日～20日、日本演劇関係者7名</p> <p>ライプツィヒ、エアフルト、ドレスデンの3都市において、児童青少年演劇観劇及び関係者との意見交換、学校訪問、ホームステイ等を実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 巡回展「現代演劇ポスター展－新国立劇場所蔵品による－」(実施3会場、計画3会場) まつもと市民芸術館(平成18年4月21日～平成18年5月7日・17日間)、3,716人 生活支援型文化施設 コンカリーニョ(平成18年5月14日～平成18年5月21日・8日間)、198人 小美玉市四季文化館(みのーれ)(平成19年3月21日～平成19年3月31日・12日間)、2,463人 ※小美玉市については平成19年度(4月1日)まで継続 <p>④ その他の展示</p> <ul style="list-style-type: none"> 2階(指揮者、バレエダンサー)、5階廊下の写真(舞台写真)の更新を定期的に行い、主催公演実施時にオペラ劇場並びに中劇場ロビーで開催される展示に積極的に情報センター所蔵資料を提供した。 <p>(3) 日独勤労青年交流事業ドイツ団の受入れ</p> <p>日独青少年指導者セミナーの関連事業として、国立青少年教育振興機構に協力し、日独勤労青年交流事業のドイツ団を受け入れ、国立劇場見学、ドイツ勤労青年団によるプレゼンテーション及び振興会職員との意見交換を行った。(11月20日、ドイツ勤労者10名)</p> <p>3. 外国の芸能関係者等の来場、見学等</p> <p>(1) 国立劇場(本館・能楽堂・文楽劇場) 15件235名</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な来場者 <ul style="list-style-type: none"> エルサルバドル国家文化芸術審議会総裁、韓国文化財庁、コロンビア・カリ市文化協会会長、オーストラリア・アシテジインターナショナル副代表、韓国国立芸術総合大学校舞踊院、サンフランシスコ市長、韓国国楽院、韓国京畿道文化の殿堂、ほか 座席字幕披露公演の実施 <ul style="list-style-type: none"> 18年10月31日に、在日各国大使夫妻を始め、大使館アタッシェ及びフォーリン・プレスセンターの外国人報道関係者、国土交通省総合政策局とビジット・ジャパン・キャンペーン事務局など、国内外の関係者約600人を招待し、「国立能楽堂座席字幕披露公演」を開催した。 <p>(2) 新国立劇場 18件151名</p> <ul style="list-style-type: none"> 主な来場者 <ul style="list-style-type: none"> アイスランド国立劇場、メトロポリタン歌劇場、台北市政府文化局、韓国全国文化芸術連合会、インドネシア音楽大学、サンフランシスコ オペラ、ほか <ul style="list-style-type: none"> 在日大使館関係者オペラ・バレエ鑑賞プログラムの実施 <ul style="list-style-type: none"> オペラ専門劇場を有し、質の高いオペラ・バレエを制作・上演していることを国際的に発信するとともに、芸術・文化面における新たな観点からの日本に対する理解の増進を図り、国際交流の振興に寄与するため、国際交流基金との共同ホストにより下記のとおり実施した。 <p>① オペラ「イドメネオ」 10月25日、ドイツ連邦共和国大使ほか6カ国大使</p> | <p>A</p> <p>事業目的に沿って、着実に成果があがっているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <p>商業ベースでは難しい舞台の招聘公演を企画・実現してほしい。</p> | | | |

| | | | | | |
|---------------------|---|--|--|---|--|
| | | | <p>② バレエ「シンデレラ」 12月15日、トルコ共和国大使ほか6カ国大使 ③ オペラ「蝶々夫人」 3月22日、フランス共和国大使ほか7カ国大使</p> <p>4. 研修事業の実施等（新国立劇場）</p> <ul style="list-style-type: none"> 韓国舞台技術者研修事業の実施 15年度から対象国を韓国とし、今年度は韓国舞台技術者1名（フリーランスの舞台監督）を招聘して、18年11月7日から12月11日までの35日間、演劇公演「エンジョイ」の制作を中心に、実務研修を行った。 アジア太平洋フォーミングアーツセンター連盟(AAPPAC)への参加 舞台芸術の拠点を担うアジア太平洋地域の主要な総合芸術文化施設で構成されるAAPPAC（19カ国、54施設・団体が加盟）に平成9年以来加盟しており、年次総会に出席するとともに情報交流等の活動を行っている。今年度は、6月6日・7日に香港で、また、3月21日～23日にニュージーランドで開催された年次総会に出席した。 また、同連盟事務局より、加盟機関の2006年（17年度）の運営状況について、各機関共通の項目の統計資料を作成するための協力依頼があったので、新国立劇場からも必要な資料を送付した。 オペラ・ヨーロッパへの参加 オペラ・ヨーロッパ（27カ国、80団体が加盟）に18年1月に加盟しており、会議に出席するとともに情報交流等の活動を行っている。今年度は、10月27日～29日にドイツで開催された会議に出席した。 国際舞台芸術協会(ISPA)への参加 劇場の世界的ネットワークであるISPA（50カ国、600団体・個人）に17年以来会議に出席するとともに情報交換等を行っている。今年度は、6月8日～11日に香港で開催された年次総会に出席した。 オペラ・アメリカへの参加 オペラ・アメリカ（6カ国、350団体以上が加盟）に平成10年に加盟しており、会議に出席するとともに情報交流等の活動を行っている。今年度は、日程の都合上、年次総会への出席はできなかったが、加盟団体の共通データベースである「Opera source」に2006/2007シーズンの公演情報を提供した。 | | |
| (4) 劇場利用者等へのサービスの向上 | 振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する | | <p>1. 観劇環境の整備</p> <p>(1) 施設・設備等の整備</p> <p>① バリアフリー等環境整備 高齢者、身体障害者を含めた劇場利用者により優しい観劇環境の整備に努めた。 また、特に開場40周年を迎え築年数が経過した国立劇場本館を含む準町地区を先行することとして、総合的なセキュリティ強化のための検討を開始した。 (主な整備項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康増進対策として屋外喫煙場所の縮小、食堂・喫茶室での分煙を実施した。(本館・能楽堂) 大講義室において講師控室から講壇への移動が車椅子でもできるよう段差をなくした。(能楽堂) 正面ロータリー内に身障者専用駐車スペースを優先確保し、サインスタンドを特注した。(能楽堂) 正面入口及び北歩廊入口階段の移動が車椅子でも通行できるよう段差をなくした。(能楽堂) 経年による発錆等の劣化による機能低下が生じたため、前庭車出入口門扉を取替え、大型バスの出入りを円滑にした。(能楽堂) 自動体外式除細動器(AED)を新たにロビー等に設置した。(能楽堂・おきなわ) 出演者の安全確保、防犯対策のため本館楽屋周りに監視カメラを4カ所設置した。また、能楽堂地階図書閲覧室に監視カメラとモニター、および一階警備室に監視モニターを設置した。(本館・能楽堂) ロビーの男性用小便器に手すりを設置した。(文楽劇場) 劇場トイレにおむつ替え用台座を設置した。(文楽劇場) 1階事務所廊下の階段に手すりを取り付けた。(文楽劇場) 階段手すりの側面に転落防止策として設置されている強化ガラスの角が鋭利であるため、ガラスの縁をクッション性のゴムでカバーした。(おきなわ) <p>② 観劇環境の快適化、案内表示の改善等 劇場内の美化や案内看板等を改善し、快適でかつ利便性の高い観劇環境の整備に努めた。 (主な整備項目)</p> <ul style="list-style-type: none"> 開場40周年を迎えるにあたり、桜をモチーフとしたロビー絨毯に改装した。(本館) 本館大劇場ロビー受付カウンター等什器類の補修・塗装を行った。 床几の布地張替え等の補修を行った。(本館) 本館大劇場1・2・3階のロビー、2階食堂の絵画の配置を見直した。 ポスターボードを増設した。(本館・能楽堂) 小劇場ロビーに舞台モニターテレビを設置、併せて大小劇場のモニターテレビ用カメラを更新した。(本館) 本館大・小劇場の外扉に遮光器具を、また大劇場3階の扉内側にカーテンを設置した。 観客席の空調の不具合について、その原因調査を行った。(本館) 建物正面に「国立文楽劇場」の文字を電飾で設置した。 オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日の開演前に劇場メインエントランス中央にインフォメーションカウンターを設置し、案内業務の強化を図った。(新国立劇場) オペラ劇場ホワイエのベンチや丸テーブルを増設した。(新国立劇場) オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日に、ホワイエ外の池の上部テラス部分にパラソル付きテーブルとベンチを仮設し、カフェテラスとしての利用に供した。(新国立劇場) オペラ劇場ホワイエもぎり側に移動式buffet・カウンターを設置し、buffet利用者の利便の向上と混雑の緩和を図った。(新国立劇場) オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日に合わせ、演目をイメージした大型の装飾花を「ウェルカム・フラワー」として設置した。(新国立劇場) | A | <p>劇場利用者へのサービスは、各般にわたり飛躍的に向上しており、日本芸術文化振興会の事業目的達成に一層寄与しているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務実績報告書にある「アンケート調査」が、一律に「概ね満足」という回答しか記載していないが、質問事項の妥当性を検討すると共に、場合によってはその他の評価についても記載することが望まれる。 新国立劇場の売店は、本も音楽中心で、演劇書はほとんど置いておらず量的にも質的にもあまりに不備である。舞台芸術の専門書をぜひ置いてほしい。 |

- ・ オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日の開演前に、ボックスオフィスの4つの窓口を明示する吊り看板を設置し、各列の役割を明確に分別しつつ、柔軟に対応することとした。(新国立劇場)

(2) その他の対応

(主な対応)

- ・ 「国立劇場さくらまつり」の開催(本館)
 - 親しみやすく開かれた国立劇場をアピールするため、さくらの開花時期に合わせて国立劇場前庭を開放し、床机や野点傘などの配置、来場者へのお茶やお菓子のサービス、紙切りとともに、国立劇場の事業の宣伝を行った。開催期間中の17日間で約2万3千人の来場者があった。
- ・ 初春歌舞伎公演に際し、ロビーで鏡開きや太神楽、獅子舞を催し、幕中に手拭い撒きを実施(本館)
- ・ 公演に際し、ロビーにおいて地元物産、書籍、音楽CD等の販売を実施(本館・能楽堂・文楽劇場)
- ・ 本館大劇場3階ロビーにおいて、開場40周年を記念した写真展「国立劇場の40年を彩った人間国宝」を10月～3月に開催
- ・ 「長谷川昇画伯歌舞伎役者絵の絵画展」を大劇場3階ロビーで開催
- ・ 国立劇場託児室(本館)
 - 18年度は、歌舞伎公演及び文楽公演開催時に営業し、206日間営業して344人の利用があった。
- ・ 新国立劇場託児室キッズルーム「ドレミ」(新国立劇場)
 - 託児サービスを18年4月より開始した。18年度は、81日間営業して327人の利用があった。
- ・ 東京オペラシティと共同で「アーツシャワー2006～オペラシティの夏祭り」を開催した。(新国立劇場)
- ・ 2階ブリッジ及び3階ギャラリーにおいて「森英恵展－手で創る」を開催した(新国立劇場)
- ・ 休憩時間中に、オペラ劇場プロムナードにオープンカフェを開設した。(新国立劇場)
- ・ 2006/2007シーズン・オープニングにちなみ、これを記念するフラッグやポスターの掲出を全分野の最初の演目の上演期間中に行った。さらにオペラ、バレエ公演については、劇場1階メインエントランスに赤絨毯を敷き、正装スタッフによる出迎えを行い、シーズンオープニングにふさわしい華やかな演出を行った。(新国立劇場)
- ・ オペラ劇場3、4階客席において身を乗り出す観客による視界障害を防ぐため、場内アナウンスと案内係による注意喚起と直接注意を強化した。(新国立劇場)
- ・ オペラ、バレエ公演日にタクシー会社各社に対し終演時間を通知し、退館者の利用に供した。(新国立劇場)
- ・ オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日に、オペラ劇場プロムナードに65インチプラズマディスプレイを設置し、来場者へのサービスと公演案内を兼ねて、各種公演記録映像を上映した。(新国立劇場)
- ・ オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日に、オペラ劇場ホワイエに臨時ボックスオフィスを設置し、前売券の販売を行った。(新国立劇場)
- ・ クリスマス時期に合わせ、共通ロビー、オペラ劇場ホワイエ及びオペラ劇場の池の上の石垣にクリスマス装飾を施した。(新国立劇場)

2. 外国語への対応

英語を中心に、外国語によるパンフレットの作成、案内表示、場内放送、イヤホンガイド等のサービスを提供し、引き続き、外国人の利用環境の充実を図っている。

(主なサービス等)

- ・ 振興会の各施設(本館・演芸場・伝統芸能情報館・能楽堂・文楽劇場・新国立劇場・舞台美術センター・国立劇場おきなわ)を紹介した案内パンフレット(日英2ヶ国語表記)の作成・配布を実施した。
- ・ ビジット・ジャパン・キャンペーンの一環として国土交通省が発行する、歌舞伎、文楽、伝統音楽についての英文パンフレット(“In vi劇場”)
- ・ オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日に合わせ、演目をイメージした大型の装飾花を「ウェルカム・フラワー」として設置した。(新国立劇場)
- ・ オペラ劇場におけるオペラ、バレエ公演日の開演前に、ボックスオフィスの4つの窓口を明示する吊り看板を設置し、各列の役割を明確に分別しつつ、柔軟に対応することとした。(新国立劇場)

(2) その他の対応

(主な対応)

- ・ 「国立劇場さくらまつり」の開催(本館)
 - 親しみやすく開かれた国立劇場をアピールするため、さくらの開花時期に合わせて国立劇場前庭を開放し、床机や野点傘などの配置、来場者へのお茶やお菓子のサービス、紙切りとともに、国立劇場の事業の宣伝を行った。開催期間中の17日間で約2万3千人の来場者があった。
- ・ 初春歌舞伎公演に際し、ロビーで鏡開きや太神楽、獅子舞を催し、幕中に手拭い撒きを実施(本館)
- ・ 公演に際し、ロビーにおいて地元物産、書籍、音楽CD等の販売を実施(本館・能楽堂・文楽劇場)
- ・ 本館大劇場3階ロビーにおいて、開場40周年を記念した写真展「国立劇場の40年を彩った人間国宝」を10月～3月に開催
- ・ 「長谷川昇画伯歌舞伎役者絵の絵画展」を大劇場3階ロビーで開催
- ・ 国立劇場託児室(本館)
 - tation to KABUKI”、“Invitation to BUNRAKU”、“Invitation to TRADITIONAL JAPANESE MUSIC”)に情報提供を行った。
- ・ 歌舞伎公演、文楽公演の解説書に英文の作品解説と梗概を掲載した。(本館)
- ・ 短期公演について、英語による簡易な解説等を作成、無料で配布した。(本館)
- ・ 公演毎に英文の演目解説プリントを作成し、英文能・狂言入門解説リーフレットとともに無料で配布した。
- ・ 英語版イヤホンガイドサービスを提供した。(本館・文楽劇場)
 - 本館・文楽劇場における鑑賞教室を除く歌舞伎(5公演)・文楽(8公演)の全公演
- ・ 英語による場内アナウンスを実施した。(本館・文楽劇場)
- ・ 文楽劇場のすべての文楽本公演において英語・韓国語・中国語(7・8月公演から)パンフレットを作成し、無料配布した。
- ・ 文楽紹介用タッチパネル式情報端末(日本語、英語、仏語)を活用した。(文楽劇場)
- ・ 2ヶ国語(日・英)表記、マーク表示による案内表示等を整備した。(全館)
- ・ ボランティア組織・文楽応援団の中で英会話が堪能な団員が、外国人への資料展示や文楽解説を行った。
- ・ 国立劇場おきなわにおいて、英語版「年間公演予定表」を作成した。
- ・ 国立劇場おきなわにおいて、英語版・中国語版・韓国語版「劇場案内リーフレット」を作成した。

- ・一部の公演を除き、公演プログラムに英文による物語解説を掲載した。(新国立劇場)
- ・劇場施設を紹介する英文パンフレットを作成した。(新国立劇場)
- ・英語で対応できる劇場案内スタッフを配置した。(新国立劇場)
- ・新国立劇場において、英語版「新国立劇場年報 2005年度」を作成した。

(能楽堂座席字幕装置)

能楽に対する理解の促進を図るとともに、外国人等の利用環境の整備を図るため、11月17日の定例公演より、原則として国立能楽堂自主公演のすべてに「座席字幕システム」を導入した。

平成18年10月31日国立劇場開場40周年を記念して、在日各国大使ご夫妻をはじめ大使館アタッシェおよびフォーリン・プレスセンターの外国人報道関係者、国土交通省総合政策局とビジット・ジャパン・キャンペーン事務局をはじめ国内外の関係者約600人を招待し、「国立能楽堂座席字幕披露公演」を開催した。

能楽堂では、能舞台の特殊な舞台構造を充分考慮し、調査研究を重ねた結果、前座席の背に一人一台設置（最前列は椅子袖に収納）する日本で初めてのパーソナル・タイプの字幕システムの導入となった。よって、日本語表示にとどまらず、海外からの観客がそれぞれの使用言語を必要なチャンネルによって最大三カ国語まで選択されることを可能とした。当面の間は、「日本語」チャンネルと「英語」チャンネルの2チャンネルに限定して試行する。

3. インターネット販売の促進

(1) インターネット販売システムの構築

下記のような販売促進機能をもつインターネット販売システムの構築を行なった。(平成19年6月販売開始予定)

[システムの販売促進機能の概要(予定)]

- ・チケット情報に特化した販売専用ホームページ(チケットセンターホームページ)の開設
- ・24時間全劇場公演のインターネットでの販売(メンテナンス時間を除く)
- ・既存会員に加え、新たにインターネット専用会員の創設
- ・観劇当日までの購入、引き取りを実現するために自動発券機の導入
- ・発売日情報などを直接インターネット専用会員に送付するお知らせメール機能

(2) インターネット販売の促進(国立劇場)

外部委託により、インターネット上でチケット販売を行った。

(販売実績)

| ジャンル | 公演数 | 販売枚数 |
|---------|-----|---------|
| 歌舞伎公演 | 9 | 8,320枚 |
| 文楽公演 | 6 | 4,724枚 |
| 親子歌舞伎公演 | 1 | 8,450枚 |
| 短期公演 | 17 | 796枚 |
| 能楽公演 | 51 | 795枚 |
| 合 計 | 84 | 23,085枚 |

4. 会員組織によるサービス

(1) 会員サービスの実施

各会員組織において、チケットの先行販売、割引販売のほか、会報の発行等各種サービスの提供を実施した。新国立劇場においては、インターネットでの先行予約受付を実施した。

① 会報の発行

- ・「あぜくら」(毎月25日発行)
- ・「文楽劇場友の会会報」(4・5・7・9・11・2月の6回発行)
- ・「国立劇場おきなわ友の会会報」(6・10・12・3月の4回発行)
- ・「新国立劇場・情報誌ジ・アトレ」(毎月20日発行)

② 会員向け催事

【あぜくら会】3回実施

- ・「あぜくらの夕べ-鼎談と映画-」 9月20日(水)、国立劇場、参加910人
第一部 鼎談「元禄忠臣蔵の思い出」
第二部 映画「元禄忠臣蔵・大石最後の一日より琴の爪」
- ・「あぜくらの夕べ-文楽入門-」 2月26日(月)、伝統芸能情報館、参加155人
文楽の解説及び参加者をまじえての実演
- ・「あぜくらの夕べ-沖縄の芝居と踊り-」 3月20日(火)、能楽堂、参加390人
沖縄狂言の方言の壁を字幕システムにより解り易く鑑賞

【文楽劇場友の会】5回実施

文楽の集いを以下のとおり実施した。

- ・7月18日(火) 参加132人、文楽劇場小ホール
- ・11月1日(水) 参加148人、文楽劇場小ホール
- ・12月13日(水) 参加35人、バスツアー「初春公演ゆかりの地見学ツアー」

また、平成19年1月公演において「ちょっとうれしいキャンペーン」を実施し、ご観劇いただいた会員全員に記念の景品(文楽衣装の端切れを使った茶)を贈呈した。(参加人数:1,613人)

【国立劇場おきなわ友の会】

- ・会員対象のバスツアー及び公演鑑賞会を1回実施(11月18日(土)、参加63人)
- ・新春講演会を1回実施(1月28日(日)、参加60人)

【クラブ・ジ・アトレ】

- ・新作オペラについて、会員から希望を募り、抽選でゲネプロ見学会を開催(5回、参加者151人)
- ・12月から3月までの間に、セット券受付の2ヶ月前からセット券申し込みと同時に入会するとセット券が会員価格で購入できるという入会キャンペーンを実施し、636人が会員になった。

(2) アンケート調査

① 会員向け催事の参加者に対し、アンケート調査を実施した。

- ・あぜくら会（3回）
合計：回答数731人（配布数1,455人、回収率50.2%）
回答者の90.4%が概ね満足と答えた（661人）。
- ・文楽友の会（1回）11月1日に実施
回答数123人（配布数148人、回収率83.1%）
回答者の95.9%が概ね満足と答えた（118人）。

② 国立劇場おきなわ友の会

6月～10月に実施した。友の会への入会の動機として、公演情報を知りたい、会員割引を利用したいが、90%であった。主に鑑賞している公演は、組踊、琉球舞踊、沖縄芝居、三線音楽、民俗芸能の順に多かった。

(3) 在籍者数（3月末現在）

| 会員組織 | 在籍者数 | 目 標 | 利用件数 |
|-------------|---------|---------|----------|
| あぜくら会 | 15,953人 | 15,600人 | 90,848件 |
| 文楽劇場友の会 | 7,160人 | 7,150人 | 16,890件 |
| 国立劇場おきなわ友の会 | 858人 | 1,060人 | 1,889件 |
| クラブ・ジ・アトレ | 15,181人 | 15,000人 | 49,447件 |
| 合 計 | 39,152人 | 38,800人 | 159,074件 |

5. 公演説明会、見学会等の実施

(1) 公演説明会の実施

鑑賞団体等に対して、制作担当職員等が演目、鑑賞のポイント等を解説する公演説明会を次のとおり実施した。

| | | | |
|----------|------|---------|-----------------------------|
| 本館・演芸場 | 154件 | 9,282人 | （歌舞伎110件7,362名、文楽44件1,920名） |
| 能楽堂 | 6件 | 257人 | |
| 文楽劇場 | 86件 | 2,959人 | |
| 国立劇場おきなわ | 8件 | 250人 | |
| 新国立劇場 | 21件 | 3,966人 | |
| 合 計 | 275件 | 16,714人 | |

(2) 施設見学の実施

鑑賞団体、小中学校、その他希望者の施設見学を次のとおり受け入れた。

| | | | |
|----------|------|---------|-------------------|
| 本館・演芸場 | 118件 | 7,680人 | （うち鑑賞団体96件7,515名） |
| 能楽堂 | 25件 | 352人 | |
| 文楽劇場 | 10件 | 132人 | |
| 国立劇場おきなわ | 60件 | 1,884人 | |
| 新国立劇場 | 54件 | 618人 | |
| 合 計 | 267件 | 10,666人 | |

(3) バックステージツアーの実施

一般を対象としたバックステージツアーを実施した。

| | | |
|----------|-----|--------|
| 文楽劇場 | 22回 | 702人 |
| 国立劇場おきなわ | 2回 | 63人 |
| 新国立劇場 | 59回 | 1,159人 |
| 合 計 | 83回 | 1,924人 |

※ 国立劇場おきなわでは、夏休み親子向けバックステージツアー（3回67人）を実施した。

※ 新国立劇場では、劇場探検ツアー（5回135人）を実施した。

(4) ボランティアによる展示解説（文楽劇場）

「文楽応援団」ボランティアによる文楽・展示の解説案内を行った。

- ・ 文楽公演期間中1日平均：解説員12人、観客352人

【特記事項】

文楽劇場において、「国立文楽劇場を楽しもう～夏休み文楽公演を前に～」(主催：高津地区まちづくり推進協議会)に協力し、鶴澤清介・企画制作課・文楽応援団による文楽及び演目に関する解説と施設見学を行った（7月14日、参加者約120人）。

新国立劇場において、06/07シーズンシートの購入者、05/06または06/07シーズンのオペラ・バレエ各種セット券購入者、マスコミ関係者を対象に、06/07シーズントーク及び05/06シーズンエンディングパーティーを実施した。（7月17日・オペラ劇場ホワイエ）

6. ボランティアの活用

(1) ボランティアによる展示解説（文楽本公演期間）

① 展示解説

「文楽応援団」として69人（3月末現在）のボランティア登録があり、資料展示室において文楽公演期間中に、文楽・展示の解説案内を行った。

- ・ 文楽公演中1日平均：解説員12人、観客352人

② 研修会7回（展示室内解説での質問があった事項や、次回公演演目や資料展示内容についての勉強会）

③ 応援団通信の発行 年2回

④ 外国人訪問団への資料展示解説及び文楽デモンストレーション時の通訳、解説、交流（サンフランシスコ市訪問団等）

⑤ その他 イベント参加、出前解説、メディア取材対応、劇場周辺の清掃（文楽関連石碑）

(2) 他の施設における検討等

- ・ 能楽堂字幕の英文翻訳の検討

18年10月31日の国立能楽堂座席字幕表示装置披露公演を経て、11月公演より本格導入した字幕について、支援スタッフ（ボランティア）9名が日本語詞章のあらすじ・内容を英語に翻訳し舞台進行に合わせて表示する方法を数回にわたり検討した。

7. イヤホンガイド、字幕表示の導入

(1) イヤホンガイドサービスの実施（計20公演）

| ジャンル | 実施公演数 | 内 訳 |
|------|-------|---------------------------|
| 歌舞伎 | 7公演 | 教室を含めた全公演(英語版は教室を除く5公演) |
| 文楽 | 10公演 | 教室を含めた全公演(英語版は教室を除く8公演) |
| 能楽 | 3公演 | 6月教室・8月子供のための夏休み能楽公演(2公演) |

- ・ 歌舞伎、文楽については、本公演において英語版イヤホンガイドサービスの提供を行っている。

(2) 字幕表示の実施

① 実施状況（計81公演）

| ジャンル | 実施公演数 | 内 訳 |
|----------|-------|---------------------------------------|
| 歌舞伎 | 2公演 | 6・7月教室 |
| 文楽 | 10公演 | 本館・文楽劇場ともに教室を含めた全公演 |
| 舞踊 | 4公演 | 5月・8月・11月・3月公演(本館) |
| 邦楽 | 4公演 | 7月・10月・11月・1月公演(本館) |
| 声明・民俗芸能等 | 3公演 | 9月声明(文楽劇場)・3月民俗芸能・4月舞踊邦楽(本館) |
| 能楽 | 19公演 | 11月17日定例公演以降の公演(12月企画公演「蠟燭の灯りによる」を除く) |
| 沖縄伝統芸能 | 27公演 | 5月(太鼓)・6月・3月(芝居)公演を除く沖縄伝統芸能の全公演 |
| オペラ | 11公演 | 本公演9公演、オペラ鑑賞教室、地域招聘公演(フィガロの結婚) |
| 演劇 | 1公演 | 本公演1公演(オイディプス王) |

② 能楽堂座席字幕装置の導入

能楽堂においては、若い観客層誘導のための対策を、専門家の意見をふまえて能楽関係者とも協議し、調査研究を重ねた結果、能舞台の特殊な舞台構造を充分考慮し、前座席の背に一人一台設置(最前列は椅子袖に収納)する日本で初めてのパーソナル・タイプの字幕システムの導入となった。8月6日より9月3日まで国立能楽堂座席字幕表示装置設置とそれに伴うその他改修工事を行い、9月30日竣工した。

10月31日には在京大使館、外国人記者をはじめ、内外の能楽関係者約600名を招待した「国立能楽堂座席字幕披露公演」が観世清和の「土蜘蛛」により開催された。これに先立つ10月26日には外国通信社2社を含む32名が出席した「記者発表会」がおこなわれ広報に努めた。

11月17日定例公演以降の原則としてすべての自主公演で、日本語・英語2チャンネル方式で字幕表示を実施した。

入場者に対し、字幕アンケートを定例公演(11/17、12/6)普及公演(12/9)企画公演(11/30)の合計4回実施。回答数1,125人(配布数2,266人、回収率49.6%)回答者の82.6%が概ね満足と答えた(929人)。

8. 要望・苦情への対応

(1) 要望・苦情等の受付体制

- ① 各劇場にご意見箱を設置
- ② ホームページに「ご意見・ご感想欄」(国立劇場)、「ご意見箱」(新国立劇場)を設置
- ③ 公演等においてアンケート調査を実施
- ④ 電話等による要望、苦情等の受付

(2) 要望・苦情等及び対応の状況

① ご意見箱 418件(本館・演芸場・能楽堂・文楽劇場・おきなわ)

寄せられた苦情・要望に対しては事実関係の正確な調査を行い、必要な場合は回答するとともに、サービス向上に努めるべく職員の周知を行った(回答23件)。

② ホームページの「ご意見・ご感想欄」(186件)、「お問い合わせ」(55件)、「ご意見箱」(105件)

寄せられた意見については、定められた連絡体制に従って関係部署間で協議等を行い、迅速な対応を図るとともに、必要に応じて回答した(回答190件)。また、役員へ報告の上全職員へ館内LANによる周知を行い問題意識の共有を図るとともに、事業等への反映に努めた。

③ 主な対応事例等

- ・ インターネットチケット販売の決定
- ・ 全席指定の決定(演芸場)
- ・ 屋外喫煙場所の配置換え(本館)
- ・ 自主、貸公演ともに食堂を全面禁煙化(能楽堂)
- ・ ホームページに各公演の字幕表示の有無を掲載(全館)
- ・ 海外の演劇専門雑誌に写真提供、特集記事の掲載(本館、能楽堂、文楽劇場、新国立劇場、国立劇場おきなわ)
- ・ 7・8月文楽公演の第3部を勤め帰りに観劇できるよう、全日午後7時開演とした。(文楽劇場)
- ・ 楽屋トイレにウォシュレットを設置した。(文楽劇場)
- ・ 建物の入口が分りにくいとの意見があり、公演の際には、入口の表示を行い、扉を開放してお客様に分りやすくなるようにした。(おきなわ)
- ・ 公演におけるアンケートの記載を、ホームページに掲載した。(新国立劇場)

9. 売店、レストラン等の充実

(1) アンケート調査の実施

売店やレストラン等に関するアンケート調査を、本館(9月、10月、11月の3回実施)、能楽堂(9月、3月の2回実施)・文楽劇場(1月に実施)・新国立劇場(常時設置と主催公演時に実施)の各館において適宜実施し、アンケート結果及びご意見箱等に寄せられた要望等を踏まえ、関係者間で意見交換を行い、可能な限りの対応を行った。

(2) 主な対応事例

- ・ 振興会ホームページの食堂売店紹介を充実させ、写真やメニューを掲載して利用者の利便を図った。(本館)
- ・ 売店・食堂において開場40周年に因む特別メニュー、おみやげ物の販売、割引販売を行った。(本館)
- ・ 観客から希望の多かった日本茶を、お休み処での販売のほか各売店でも販売した。(本館)

| | | | | | | |
|--|--------|-----------|------------------------|--|--------------------------------|---|
| | | | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 食堂の設備について、壁面塗装、厨房のシンク交換等衛生管理に努めた。(本館) ・ レストランにおいて、お客様にレシートを発行できるようにした。(能楽堂) ・ オペラ劇場ホワイエに移動式buffet・カウンターをもぎり側に設置することで、buffet利用者の利便の向上と混雑の緩和を図った。(新国立劇場) <p>(3) その他</p> <p>国立劇場おきなわにおいては、稽古・公演時及び各会議等において楽屋食堂及びカフェ・ピクフェ等の利用、弁当の販売、自動販売機の設置等を行い利用者の利便性の向上に努めている。しかし、経営状況は厳しく食堂経営者とのミーティングを実施したものの、18年12月末をもって撤退した。新たな運営業者が19年2月からカフェ・ピクフェ、3月から楽屋食堂の営業を開始しているが経営状況は厳しい状況にある。</p> | | |
| | 会員数の確保 | 38,800人以上 | 27,160人以上 38,800人未満 | 27,160人未満 | 実績39,152人/目標38,800人(達成度100.9%) | A |

Ⅲ 予算、収支計画及び資金計画

| 中期計画の各項目 | 指標又は評価項目 | 評 定 基 準 | | | 指標又は評価項目に係る実績 | 評 定 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|-------------------------|---|----------|---|--|-------|---|-----|------|-----|-----|-----|-------|-----------|-----------|---------|------------|------------|---------|--------|--------|---------|---------|----------|---------|-----------|-----------|-------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------------|-----------|-----------|-------------|-------------|-----------|---------|--------|------------|-----------|-----------|-------------|---------|--------|--------|--------|------------|------------|-----------|--------|-------|---------|---------|-------|-----------|-----------|-----------|--------|---------|---------|---------|------------|---------|---------|----------|---------|------------|------------|------------|------------|-----------|-----------|---------|------------|-----------|------------|------------|--------|---------|---------|--------|---------|-------------|-----------|-----------|---------|----------|--------|--------|--------------|-------------|-----------|-----------|--------|------------|------------|--------|------|--------------|---------|---------|--------|-----------|---|--------|--------|---------|---|-------|-------|
| | | A | B | C | | 段階的評定 | 定 性 的 評 定 等 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>収入面に関しては、実績を勘案しつつ、外部資金を積極的に導入することにより、計画的な収支計画による運営を図る。</p> <p>また、管理業務の効率化を進める観点から、各事業年度において、適切な効率化を見込んだ予算による運営に努める。</p> | <p>収入の確保、効率的な予算の執行等</p> | <p>振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する</p> | | | <p>1. 財務状況</p> | | <p>A A</p> <p>法人の役割を踏まえた管理運営及び事業の実施において、適正な財務計画及び処理がなされているものと認められる。</p> <p>【より良い事業とするための意見等】 今後とも、外部資金の確保に向けた努力が望まれる。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | <p>※Sについては、客観的基準を事前に設けず、法人の業務の特性に応じて評定を付す。また、Fについても、客観的基準を事前に設けず、業務改善の勧告が必要と判断された場合、その評定を付す。 【以下、全ての項目について同様】</p> | | | <p>【予算】 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>実績額</th> <th>増△減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>収 入</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>運営費交付金</td><td>11,582,621</td><td>11,582,621</td><td>0</td></tr> <tr><td>雑収入</td><td>73,139</td><td>45,519</td><td>△27,620</td></tr> <tr><td>施設整備費補助金</td><td>411,797</td><td>411,640</td><td>△157</td></tr> <tr><td>公演事業収入 (注1)</td><td>3,012,664</td><td>3,267,648</td><td>254,984</td></tr> <tr><td>公演受託事業収入</td><td>56,000</td><td>32,863</td><td>△23,137</td></tr> <tr><td>基金運用収入 (注2)</td><td>1,797,075</td><td>1,785,793</td><td>△11,282</td></tr> <tr><td>寄附金収入</td><td>1,000</td><td>500</td><td>△500</td></tr> <tr><td>その他の収入 (注3)</td><td>100</td><td>54,744</td><td>54,644</td></tr> <tr><td>計</td><td>16,934,396</td><td>17,181,328</td><td>246,932</td></tr> <tr><td>支 出</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>1,233,208</td><td>1,099,665</td><td>133,543</td></tr> <tr><td>うち人件費</td><td>642,282</td><td>628,925</td><td>13,357</td></tr> <tr><td>うち物件費 (注4)</td><td>590,926</td><td>470,740</td><td>120,186</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>10,422,552</td><td>10,607,307</td><td>△184,755</td></tr> <tr><td>うち人件費 (注5)</td><td>2,126,630</td><td>2,166,288</td><td>△39,658</td></tr> <tr><td>うち物件費 (注6)</td><td>8,295,922</td><td>8,441,019</td><td>△145,097</td></tr> <tr><td>施設整備費</td><td>411,797</td><td>411,640</td><td>157</td></tr> <tr><td>公演事業費</td><td>3,012,664</td><td>3,018,311</td><td>△5,647</td></tr> <tr><td>公演受託事業費</td><td>56,000</td><td>23,273</td><td>32,727</td></tr> <tr><td>基金助成事業費 (注7)</td><td>1,798,175</td><td>1,752,007</td><td>46,168</td></tr> <tr><td>計</td><td>16,934,396</td><td>16,912,203</td><td>22,193</td></tr> </tbody> </table> <p>主な増減理由</p> <p>(注1) 劇場入場料、劇場使用料等の増 (注2) 芸術文化振興基金の運用収入の減 (注3) 前年度助成金の減額・要望取下げに係る戻入、及び過年度助成金の交付決定取消に係る返還による増 (注4) 翌期以降への繰越による減 (注5) 退職手当の増 (注6) 前年度からの繰越執行分による増 (注7) 助成金の減額・要望取下げによる減</p> | | | 区 分 | 計画額 | 実績額 | 増△減 | 収 入 | | | | 運営費交付金 | 11,582,621 | 11,582,621 | 0 | 雑収入 | 73,139 | 45,519 | △27,620 | 施設整備費補助金 | 411,797 | 411,640 | △157 | 公演事業収入 (注1) | 3,012,664 | 3,267,648 | 254,984 | 公演受託事業収入 | 56,000 | 32,863 | △23,137 | 基金運用収入 (注2) | 1,797,075 | 1,785,793 | △11,282 | 寄附金収入 | 1,000 | 500 | △500 | その他の収入 (注3) | 100 | 54,744 | 54,644 | 計 | 16,934,396 | 17,181,328 | 246,932 | 支 出 | | | | 一般管理費 | 1,233,208 | 1,099,665 | 133,543 | うち人件費 | 642,282 | 628,925 | 13,357 | うち物件費 (注4) | 590,926 | 470,740 | 120,186 | 事業費 | 10,422,552 | 10,607,307 | △184,755 | うち人件費 (注5) | 2,126,630 | 2,166,288 | △39,658 | うち物件費 (注6) | 8,295,922 | 8,441,019 | △145,097 | 施設整備費 | 411,797 | 411,640 | 157 | 公演事業費 | 3,012,664 | 3,018,311 | △5,647 | 公演受託事業費 | 56,000 | 23,273 | 32,727 | 基金助成事業費 (注7) | 1,798,175 | 1,752,007 | 46,168 | 計 | 16,934,396 | 16,912,203 | 22,193 | | | | | | | | | | | | | |
| 区 分 | 計画額 | 実績額 | 増△減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収 入 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運営費交付金 | 11,582,621 | 11,582,621 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雑収入 | 73,139 | 45,519 | △27,620 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設整備費補助金 | 411,797 | 411,640 | △157 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演事業収入 (注1) | 3,012,664 | 3,267,648 | 254,984 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演受託事業収入 | 56,000 | 32,863 | △23,137 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基金運用収入 (注2) | 1,797,075 | 1,785,793 | △11,282 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 寄附金収入 | 1,000 | 500 | △500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他の収入 (注3) | 100 | 54,744 | 54,644 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 16,934,396 | 17,181,328 | 246,932 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 支 出 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般管理費 | 1,233,208 | 1,099,665 | 133,543 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち人件費 | 642,282 | 628,925 | 13,357 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち物件費 (注4) | 590,926 | 470,740 | 120,186 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 10,422,552 | 10,607,307 | △184,755 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち人件費 (注5) | 2,126,630 | 2,166,288 | △39,658 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち物件費 (注6) | 8,295,922 | 8,441,019 | △145,097 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 施設整備費 | 411,797 | 411,640 | 157 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演事業費 | 3,012,664 | 3,018,311 | △5,647 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演受託事業費 | 56,000 | 23,273 | 32,727 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基金助成事業費 (注7) | 1,798,175 | 1,752,007 | 46,168 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 16,934,396 | 16,912,203 | 22,193 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【収支計画】 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>計画額</th> <th>実績額</th> <th>増△減</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>費用の部</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>一般管理費</td><td>1,188,000</td><td>1,043,054</td><td>144,946</td></tr> <tr><td>うち人件費</td><td>642,000</td><td>628,925</td><td>13,075</td></tr> <tr><td>うち物件費</td><td>546,000</td><td>414,129</td><td>131,871</td></tr> <tr><td>事業費</td><td>9,454,000</td><td>9,574,477</td><td>△120,477</td></tr> <tr><td>うち人件費</td><td>2,146,000</td><td>2,175,331</td><td>△29,331</td></tr> <tr><td>うち国立劇場等関係経費(注1)</td><td>6,831,000</td><td>6,934,772</td><td>△103,772</td></tr> <tr><td>うち舞台芸術振興事業費</td><td>477,000</td><td>464,374</td><td>12,626</td></tr> <tr><td>公演事業費 (注2)</td><td>3,013,000</td><td>2,863,182</td><td>149,818</td></tr> <tr><td>公演受託事業費</td><td>56,000</td><td>23,273</td><td>32,727</td></tr> <tr><td>基金助成事業費</td><td>1,798,000</td><td>1,752,007</td><td>45,993</td></tr> <tr><td>うち人件費</td><td>118,000</td><td>113,331</td><td>4,669</td></tr> <tr><td>うち物件費</td><td>1,680,000</td><td>1,638,676</td><td>41,324</td></tr> <tr><td>減価償却費</td><td>503,000</td><td>751,403</td><td>△248,403</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>△160,705</td><td>160,705</td></tr> <tr><td>計</td><td>16,012,000</td><td>15,846,691</td><td>165,309</td></tr> <tr><td>収益の部</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr><td>運営費交付金</td><td>10,569,000</td><td>10,562,914</td><td>△6,086</td></tr> <tr><td>雑収入</td><td>73,000</td><td>45,516</td><td>△27,484</td></tr> <tr><td>公演事業収入 (注3)</td><td>3,013,000</td><td>3,269,276</td><td>256,276</td></tr> <tr><td>公演受託事業収入</td><td>56,000</td><td>32,863</td><td>△23,137</td></tr> <tr><td>基金運用収入 (注4)</td><td>1,797,000</td><td>1,818,565</td><td>21,565</td></tr> <tr><td>寄附金収入</td><td>1,000</td><td>500</td><td>△500</td></tr> <tr><td>資産見返運営費交付金戻入</td><td>503,000</td><td>530,705</td><td>27,705</td></tr> <tr><td>資産見返寄附金戻入</td><td>0</td><td>37,990</td><td>37,990</td></tr> <tr><td>貸倒引当金戻入</td><td>0</td><td>2,671</td><td>2,671</td></tr> </tbody> </table> | | | | | 区 分 | 計画額 | 実績額 | 増△減 | 費用の部 | | | | 一般管理費 | 1,188,000 | 1,043,054 | 144,946 | うち人件費 | 642,000 | 628,925 | 13,075 | うち物件費 | 546,000 | 414,129 | 131,871 | 事業費 | 9,454,000 | 9,574,477 | △120,477 | うち人件費 | 2,146,000 | 2,175,331 | △29,331 | うち国立劇場等関係経費(注1) | 6,831,000 | 6,934,772 | △103,772 | うち舞台芸術振興事業費 | 477,000 | 464,374 | 12,626 | 公演事業費 (注2) | 3,013,000 | 2,863,182 | 149,818 | 公演受託事業費 | 56,000 | 23,273 | 32,727 | 基金助成事業費 | 1,798,000 | 1,752,007 | 45,993 | うち人件費 | 118,000 | 113,331 | 4,669 | うち物件費 | 1,680,000 | 1,638,676 | 41,324 | 減価償却費 | 503,000 | 751,403 | △248,403 | その他 | 0 | △160,705 | 160,705 | 計 | 16,012,000 | 15,846,691 | 165,309 | 収益の部 | | | | 運営費交付金 | 10,569,000 | 10,562,914 | △6,086 | 雑収入 | 73,000 | 45,516 | △27,484 | 公演事業収入 (注3) | 3,013,000 | 3,269,276 | 256,276 | 公演受託事業収入 | 56,000 | 32,863 | △23,137 | 基金運用収入 (注4) | 1,797,000 | 1,818,565 | 21,565 | 寄附金収入 | 1,000 | 500 | △500 | 資産見返運営費交付金戻入 | 503,000 | 530,705 | 27,705 | 資産見返寄附金戻入 | 0 | 37,990 | 37,990 | 貸倒引当金戻入 | 0 | 2,671 | 2,671 |
| 区 分 | 計画額 | 実績額 | 増△減 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 費用の部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 一般管理費 | 1,188,000 | 1,043,054 | 144,946 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち人件費 | 642,000 | 628,925 | 13,075 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち物件費 | 546,000 | 414,129 | 131,871 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 事業費 | 9,454,000 | 9,574,477 | △120,477 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち人件費 | 2,146,000 | 2,175,331 | △29,331 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち国立劇場等関係経費(注1) | 6,831,000 | 6,934,772 | △103,772 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち舞台芸術振興事業費 | 477,000 | 464,374 | 12,626 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演事業費 (注2) | 3,013,000 | 2,863,182 | 149,818 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演受託事業費 | 56,000 | 23,273 | 32,727 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基金助成事業費 | 1,798,000 | 1,752,007 | 45,993 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち人件費 | 118,000 | 113,331 | 4,669 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| うち物件費 | 1,680,000 | 1,638,676 | 41,324 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 減価償却費 | 503,000 | 751,403 | △248,403 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 0 | △160,705 | 160,705 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計 | 16,012,000 | 15,846,691 | 165,309 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 収益の部 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運営費交付金 | 10,569,000 | 10,562,914 | △6,086 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 雑収入 | 73,000 | 45,516 | △27,484 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演事業収入 (注3) | 3,013,000 | 3,269,276 | 256,276 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 公演受託事業収入 | 56,000 | 32,863 | △23,137 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 基金運用収入 (注4) | 1,797,000 | 1,818,565 | 21,565 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 寄附金収入 | 1,000 | 500 | △500 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資産見返運営費交付金戻入 | 503,000 | 530,705 | 27,705 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 資産見返寄附金戻入 | 0 | 37,990 | 37,990 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 貸倒引当金戻入 | 0 | 2,671 | 2,671 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | |
|--------|------|------------|------------|---------|
| その他の収入 | (注5) | 0 | 54,744 | 54,744 |
| 計 | | 16,012,000 | 16,355,744 | 343,744 |
| 純利益 | | 0 | 509,053 | 509,053 |
| 積立金取崩額 | | 0 | 0 | 0 |
| 総利益 | | 0 | 509,053 | 509,053 |

主な増減理由

- (注1) 設備改修工事実施による支出増
- (注2) 公演費の節約による減
- (注3) 劇場入場料、劇場使用料等の増
- (注4) 芸術文化振興基金の運用収入の増
- (注5) 前年度助成金の減額・要望取下げに係る戻入、及び過年度助成金の交付決定取消に係る返還による増

【資金計画】

(単位：千円)

| 区 分 | 計画額 | 実績額 | 増△減 |
|-------------------|------------|------------|------------|
| 資金支出 | 28,485,000 | 33,662,267 | △5,177,267 |
| 業務活動による支出 | 17,904,000 | 17,648,611 | 255,389 |
| 投資活動による支出(注1) | 9,719,000 | 12,556,435 | △2,837,435 |
| 財務活動による支出(注2) | 0 | 166,094 | △166,094 |
| 翌年度への繰越金 | 862,000 | 3,291,127 | △2,429,127 |
| 資金収入 | 28,485,000 | 33,662,267 | 5,177,267 |
| 業務活動による収入 | 18,918,000 | 19,234,585 | 316,585 |
| 運営費交付金による収入 | 11,583,000 | 11,582,621 | △379 |
| 公演事業による収入 | 3,013,000 | 3,033,498 | 20,498 |
| 公演受託事業による収入 | 56,000 | 11,428 | △44,572 |
| 基金運用による収入 | 1,797,000 | 1,785,644 | △11,356 |
| その他の収入 | 2,469,000 | 2,821,394 | 352,394 |
| 投資活動による収入 | 8,406,000 | 10,663,242 | 2,257,242 |
| 施設整備費補助金による収入(注3) | 412,000 | 585,242 | 173,242 |
| その他の収入(注4) | 7,994,000 | 10,078,000 | 2,084,000 |
| 財務活動による収入 | 0 | 500 | 500 |
| 民間出えん金受入による収入(注5) | 0 | 500 | 500 |
| 前年度よりの繰越金 | 1,161,000 | 3,763,940 | 2,602,940 |

主な増減理由

- (注1) 定期預金、長期性預金の預入による支出増
- (注2) リース債務の返済による支出
- (注3) 前年度補助金の一部未収金分の増
- (注4) 定期預金の払戻による収入増
- (注5) 民間人からの出えんによる増

2. 剰余金

(1) 損益計算の結果、18事業年度の当期純利益は509,053千円である。

(2) 利益が生じた主な理由

- ① 公演事業において、249,837千円の利益が生じた。その主な内容は次のとおり。
 - ・ 歌舞伎公演、文楽公演などの入場料収入が194,220千円の増収
 - ・ 劇場使用料や駐車場使用料などの施設使用料収入が43,920千円の増収
 - ・ 利息収入などの事業外収入が、7,944千円の増収
- ② 基金助成事業において、88,530千円の利益が生じた。その主な内容は次のとおり。
 - ・ 前年度助成金の減額・要望取下げに係る戻入、及び過年度助成金の交付決定取消に係る返還による収入が54,644千円の増収
 - ・ 助成金の要望取下げ及び減額による28,800千円の支出減
 - ・ 助成業務に係る経費を11,293千円の削減
- ③ 公演事業費に係る資本的支出により146,086千円の費用の減となった。

3. 運営費交付金債務

(1) 19年3月31日現在における運営費交付金債務残高は498,548千円である。(単位：千円)

| 区 分 | 期首残高/受入額 | 当期収益化 | 期末残高 |
|--------------|------------|------------|---------|
| 平成15年度運営費交付金 | 44,123 | 0 | 44,123 |
| 平成16年度運営費交付金 | 27,586 | 26,596 | 990 |
| 平成17年度運営費交付金 | 505,615 | 375,408 | 130,207 |
| 平成18年度運営費交付金 | 11,582,621 | 11,259,393 | 323,228 |
| 計 | 12,159,945 | 11,661,397 | 498,548 |

(2) 期末残高のうち繰り越して執行する運営費交付金債務の主な内容は次のとおりである。

(平成19年度執行予定)

- ・ 施設改修工事 150,963千円
- ・ 舞台設備改修工事 224,300千円
- ・ 舞台芸術振興事業費に充当 22,795千円
- ・ その他 8,878千円

4. 積立金の状況

(単位：千円)

| 区 分 | 期首残高 | 当期増△減 | 期末残高 |
|-----|------|-------|------|
|-----|------|-------|------|

| | | | |
|---------------------|---------|---------|-----------|
| 通則法44条 1項積立金 | 682,499 | 293,891 | 976,390 |
| 通則法44条 3項積立金(目的積立金) | 109,522 | △59,214 | 50,308 |
| 計 | 792,021 | 234,677 | 1,026,698 |

※ 目的積立金の期末残高50,308千円は、19年度基金助成事業に充当する予定である。

5. 外部資金の獲得状況 (15件、56,123千円)

- ・ 文化庁芸術祭祝典等の受託事業収入 4件、32,863千円
- ・ 芸術祭主催公演等における負担金による収入 9件、22,260千円
- ・ 公演事業に対する寄附金収入 1件、500千円
- ・ 芸術文化振興基金に対する民間出えん金 1件、500千円

6. 短期借入金

なし。

| 中期計画の各項目 | 指標又は評価項目 | 評 定 基 準 | | | 指標又は評価項目に係る実績 | 評 定 | | |
|-------------|---|--|---|---|--|-------|-------------|---|
| | | A | B | C | | 段階的評定 | 定 性 的 評 定 等 | |
| 1. 人事に関する計画 | <p>職員の計画的、適正な配置と人事交流の推進 事務能率の維持、増進 職員数の抑制</p> | <p>〔 振興会における自己点検評価の結果をふまえつつ、委員の協議により、評定を決定する 〕</p> <p>※Sについては、客観的基準を事前に設けず、法人の業務の特性に応じて評定を付す。また、Fについても、客観的基準を事前に設けず、業務改善の勧告が必要と判断された場合、その評定を付す。 【以下、全ての項目について同様】</p> | | | <p>1. 法人のトップマネジメント</p> <p>(1) 職員の意識改革及び経営方針の明確化 理事長（16年5月就任）は、3年目にあたる18年度においても、引き続き毎月の役員会において各事業の報告を受けて指示を出し、すべての事業に有効性・効率性を求め、職員の意識の向上を図った。 業務の質について一層の向上を図るため、18年度は自ら講師となり管理職職員への研修を実施するとともに、中堅・若手職員の作業部会等へも積極的に出席し、また、各課単位の所属職員と理事長との懇談会を定期的に行うなど、きめ細かく職員に指導を行い、職員共通の目標である観客第一主義の徹底を図った。</p> <p>(2) 観客サービスの向上 理事長は、観客サービスの向上を図るため、社会人を対象とした公演の拡充を指示するなど、前年度に実施した事業の推進を図ったほか、観劇環境の整備等に係る以下の事項について指導力を発揮した。</p> <p>① 国立劇場開場40周年記念事業 国立劇場及び日本芸術文化振興会の存在を広くアピールする絶好の機会として、職員一丸となって取り組むよう指示するとともに、18年9月から19年3月までの半年間にわたって記念事業を実施した。 また、開場40周年記念事業実行委員会を組織し、実行委員長として全体の指揮にあたって事業を推進した結果、観客からの支持を得て、過去最高の集客を数えるとともに、職員についても観客を第一と考える意識を一層浸透させた。</p> <p>② パーソナルタイプの座席字幕表示装置の設置 16年度より能楽堂への字幕導入の検討を重ね、17年1月の文楽劇場の文楽公演からすべての文楽公演で字幕表示を開始し、更に同年2月より本館においても全ての文楽公演にも字幕表示を開始した。 観客へのアンケートを分析すると理解が深まるなど大変評価が高かったことや、能楽堂特有の雰囲気や壊すことなく導入する技術的な見通しが立ったため、能楽堂での字幕装置の導入を決め、鑑賞者の手引きとして、また、外国からの観客への対応なども考慮し、個々の座席に日本語のほか複数外国語を表示することができる、日本で初めての「座席字幕表示装置」を18年10月に完成させた。同月31日には報道機関、各国大使夫妻や報道関係者を120名招き披露公演を行い、同年11月17日の定例公演よりほぼ全ての公演で字幕表示を行った。報道機関などを通じて広く周知を行い、鑑賞者からは非常に高い評価を得るなど、日本初となる先進的な発想による字幕表示装置の実現に至るまで、強い指導力を発揮した。</p> <p>③ 社会人を対象とした公演の拡充 好評を待っている社会人を対象とした入門公演の拡充を推進し、文楽劇場の夏休み文楽公演において、第三部の全期間を「社会人のための文楽入門」として実施するなど歌舞伎・文楽を含め4公演25回を実施した。</p> <p>④ 「国立劇場さくらまつり」の開催 劇場利用者以外の一般の方々に親しみやすく開かれた国立劇場を認識してもらうため、16年度から引き続き、桜の開花時期に合わせて「国立劇場さくらまつり」を開催した。床机や野点傘などの配置、茶菓サービス、その他の催し案内、伝統芸能情報館などの施設の案内を行った。理事長自ら現場でサービスの指揮にあたり、18年度は約2万3千人の来場者があり、大好評を得た（19年3月16日～4月1日開催）。</p> <p>⑤ 大劇場ロビーのギャラリーの活用 観客により良く国立劇場が所蔵する現代の名作絵画を鑑賞してもらうため、大劇場1・2・3階のロビー、2階食堂の絵画の配置を見直し、本館大劇場3階ロビーにおいて、開場40周年を記念した写真展「国立劇場の40年を彩った人間国宝」を10月～3月に開催、「長谷川昇画伯歌舞伎役者絵の絵画展」を3月に開催した。</p> <p>⑥ 敷地内の案内看板等の総括的見直し 本館の敷地内及び周辺地域の案内看板、ポスター掲示板、見取り図、誘導サインなど、観客の誘導に係る看板類は、経年劣化や製作年代による不統一等が見られるため、作業チームにより総括的に見直す作業を開始し、19年度中に完成させるため引き続き作業を進めた。</p> <p>(3) 理事長の補佐 理事3名は、それぞれ業務に精通しており、理事長の運営方針のもと、各業務における具体的な検討の指導、調整を行うなど、適切に理事長を補佐した。 監事2名は、監事監査、定期的な会計報告、事業報告等をもとに、適切な意見を示すなど、業務の改善に対する働きかけや、理事長や理事の職務遂行結果の妥当性のチェックを行うなど、必要な責務を果たした。</p> <p>2. 人事</p> <p>(1) 職員の計画的かつ適正な配置 引き続き、勤務評価記録書等及び身上調書により、職員の適性と希望の把握に努め、今後の組織機構の在り方や人員配置等の検討するための情報収集を行った。 また、人件費の削減目標の達成に向け、計画的な職員数の削減及び組織のスリム化を図り、組織の見直し・常勤職員数の抑制について検討を行い、実施した。</p> <p>(2) 人事交流の推進 国の機関、国立大学法人等との人事交流を実施し、多様な人材の確保によって組織の活性化を図った。 また、国立劇場おきなわ運営財団及び新国立劇場運営財団の要請により振興会職員を派遣し、国立劇場おきなわ及び新国立劇場における円滑な委託業務の実施に資することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国の機関及び国立大学法人から出向者の受入（19人） ・ 国の機関への職員の派遣（1人） ・ 国立劇場おきなわ運営財団への職員の派遣（5人） ・ 新国立劇場運営財団への職員の派遣（11人） <p>なお、より効率的な業務運営を図るため、新国立劇場運営財団との相互人事交流について検討を行った。</p> <p>(3) 事務能率の維持、増進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事務能率の維持、増進を図るため、主に管理職職員を対象としたトップマネジメント研修を実施するとともに、中堅職員においても、専門的な知識や技能の修得を目的とする外部の研修に積極的に派遣した。 | A | A | 適切に実施されたものと認められる。人件費の削減についても、2.6%の削減を図っており、順調に進捗しているものと考えられる。 |

| | | | <ul style="list-style-type: none"> 職員への福利厚生のために民間企業と提携し福利厚生の充実を図るとともに、更に民間保養施設及び公的機関と提携し、ホームページ等により職員への周知に努めた。 法定健康診断以外に、希望者に対して契約病院（3ヶ所）での人間ドック受診を実施したほか、若年層の職員のために、若年向け健康診断を実施した。 高齢者の雇用の推進及び人件費の抑制のため、高齢者採用枠を設け、高齢者採用を行った。 <p>(4) 給与水準等の把握</p> <p>振興会の職員が行う職務は、国の一般職俸給表（行政職俸給表一）の適用を受けるものと同等の職務であるとみなし、給与についても一般職俸給法に準拠した給与制度で支給してきていることを前提に、これらとの比較を行った。（「独立行政法人の役員の報酬等及び職員の給与水準（平成17年度）」18年7月28日総務省公表を参照）</p> <p>① 職員の給与水準</p> <p><一般職俸給表適用者との比較> ※1：国は甲地12%・10%である。</p> <table border="1" data-bbox="1133 424 1932 537"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>国の一般職（行一）適用者</th> <th>振興会一般職俸給表適用者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均年齢</td> <td>40.4歳</td> <td>44.9歳</td> </tr> <tr> <td>学歴(大学卒の割合)</td> <td>47.3%</td> <td>73.9%</td> </tr> <tr> <td>調整手当支給率*1</td> <td>29.9%</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p><他の独立行政法人との比較>17年度年間給与額</p> <table border="1" data-bbox="1133 590 1932 703"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>全独立行政法人</th> <th>日本芸術文化振興会</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>給与総額</td> <td>7,363千円</td> <td>7,080千円</td> </tr> <tr> <td>平均年齢</td> <td>43.3歳</td> <td>44.9歳</td> </tr> <tr> <td>ラスパイレース指数*2</td> <td>107.5</td> <td>98.7</td> </tr> </tbody> </table> <p>*2：国の一般職俸給表適用者の給与を100としたときの給与水準の指数</p> <p>② 常勤役員の年間報酬</p> <table border="1" data-bbox="1133 783 1911 867"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>法人の長</th> <th>理事</th> <th>監事</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>全独立行政法人（平均）</td> <td>18,409千円</td> <td>16,049千円</td> <td>13,892千円</td> </tr> <tr> <td>日本芸術文化振興会</td> <td>19,084千円</td> <td>15,690千円</td> <td>14,377千円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 国家公務員の給与構造改革を踏まえた見直し</p> <p>「一般職の職員の給与に関する法律」の改正に伴い、振興会の役職員の給与規程の改正が必要となったため、俸給表の見直しを行い、本給の平均4.8%の削減を行うとともに、号俸の細分化と等級の見直し、地域手当の新設と都市手当の廃止、勤務実績の給与への反映と昇給制度の改正を合わせて行った。</p> <p>(6) 平成18年度の役職員の報酬・給与等について</p> <p>別紙「独立行政法人日本芸術文化振興会の役職員の報酬・給与等について」を参照。（平成18事業年度業務実績報告書に添付）</p> | 項目 | 国の一般職（行一）適用者 | 振興会一般職俸給表適用者 | 平均年齢 | 40.4歳 | 44.9歳 | 学歴(大学卒の割合) | 47.3% | 73.9% | 調整手当支給率*1 | 29.9% | 100% | 項目 | 全独立行政法人 | 日本芸術文化振興会 | 給与総額 | 7,363千円 | 7,080千円 | 平均年齢 | 43.3歳 | 44.9歳 | ラスパイレース指数*2 | 107.5 | 98.7 | 項目 | 法人の長 | 理事 | 監事 | 全独立行政法人（平均） | 18,409千円 | 16,049千円 | 13,892千円 | 日本芸術文化振興会 | 19,084千円 | 15,690千円 | 14,377千円 | | |
|-------------------------|--------------|--|--|----|--------------|-------------------|------|-------|-------|------------|-------|-------|-----------|-------|------|----|---------|-----------|------|---------|---------|------|-------|-------|-------------|-------|------|----|------|----|----|-------------|----------|----------|----------|-----------|----------|----------|----------|--|--|
| 項目 | 国の一般職（行一）適用者 | 振興会一般職俸給表適用者 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均年齢 | 40.4歳 | 44.9歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 学歴(大学卒の割合) | 47.3% | 73.9% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調整手当支給率*1 | 29.9% | 100% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 全独立行政法人 | 日本芸術文化振興会 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 給与総額 | 7,363千円 | 7,080千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均年齢 | 43.3歳 | 44.9歳 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ラスパイレース指数*2 | 107.5 | 98.7 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 法人の長 | 理事 | 監事 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 全独立行政法人（平均） | 18,409千円 | 16,049千円 | 13,892千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 日本芸術文化振興会 | 19,084千円 | 15,690千円 | 14,377千円 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 2. 施設及び設備に関する計画 | 計画に沿った整備の推進 | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>3. 施設</p> <p>(1) 施設整備費補助金による施設・設備の整備等</p> <ul style="list-style-type: none"> 国立劇場おきなわ土地購入 411,640千円 年度当初に不動産鑑定士による土地価格評価を行い、適正な価格にて2,510㎡を購入した。 <p>(2) 運営費交付金による施設・設備の整備</p> <p>本館大小劇場ロビー床改修工事、能楽堂字幕装置設置客席改修工事を行い、良好な観劇環境を確保し利便性の向上を図るとともに、施設の保全を行った。</p> <p>本館小劇場文案廻し付近空調設備整備工事、大小劇場楽屋監視カメラ設置工事を実施し、観客・出演者等劇場利用者の安全確保と環境改善を図った。また、本館大小劇場の客席等で空調温度調査を実施し、今後の空調設備の全体的な改善に向けて検討を行った</p> <p>大小劇場舞台機構改修工事（吊物制御盤等）、小劇場音響調整卓改修工事、本館各所アスベスト吹付け改修工事（最終）、演芸場自動火災報知設備更新工事などを実施し、施設・舞台設備の老朽化対策・安全対策を実施した。</p> <p>(3) 17年度より繰り越して実施した工事（運営費交付金債務）</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設改修工事 196,182千円 舞台設備改修工事 161,555千円 | A | A | 適切に実施されたものと認められる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 3. その他振興会の業務の運営に関し必要な事項 | | 振興会における自己点検評価の結果をふまえて、委員の協議により、評定を決定する | <p>4. 運営委託（国立劇場おきなわ、新国立劇場）</p> <p>(1) 国立劇場おきなわ運営委託（財団法人国立劇場おきなわ運営財団）</p> <p>① 委託契約の状況</p> <p>平成18年4月1日付けで18年4月1日から19年3月31日までの組踊等沖縄伝統芸能に係る業務及び劇場の管理運営に関する業務委託契約について766,408,000円を限度として締結。委託確定額は722,282,374円である。</p> <p>② 委託内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 公演の実施（沖縄伝統芸能等30公演） 組踊（立方・地方）伝承者の養成 沖縄伝統芸能に関する調査研究、資料収集・利用業務 劇場施設の貸与（大劇場、小劇場） 劇場施設の管理運営 その他附帯する業務 <p>③ 運営に関する協議及び報告の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務委託に係る規程の制定及び改正を協議 | A | A | 適切に実施されたものと認められる。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

(職員給与規程の全面改正、職員の職務に専念する義務の特例に関する規程の制定、職員退職手当規程の制定、資料取扱規程の制定、施設利用規程の一部改正)

- ・ 業務委託契約の変更、収支計画の変更を協議
- ・ 各四半期終了後に受託業務状況報告書を受領
- ・ 委託期間終了後に受託業務実績報告書を受領
- ・ 劇場施設(固定資産)取得報告書兼引き渡し書を受領

④ 運営委託の方針・連絡体制の整備等

運営財団の業務内容が振興会年度計画に沿った形でより効率的に実施され、かつ成果があがるよう、昨年度に引き続き新規採用職員の東京における研修の実施のほか、予算執行に関する意見交換を行った。このような機会を増加させることによって、昨年度に引き続き振興会と運営財団が共通理解のもと、事業の実施及び劇場の管理運営に当たられるような環境の整備を行った。

⑤ 効率化状況等

a. 効率化状況等

- ・ 委託費の状況(単位:千円)

| 年度 | 15年度(下半年) | 16年度 | 17年度 | 18年度 |
|------|-----------|---------|---------|---------|
| 金額 | 332,025 | 795,306 | 755,686 | 722,282 |
| 前年度比 | - | - | 95.0% | 95.6% |

※国立劇場おきなわは16年1月に開場したため、16年度が平年度化の1年目となる。

- ・ 財団における効率化状況を比較検討するため、委託費の分析、自己点検評価等により効率化状況の把握に努めた。
- ・ 運営財団における物品の取得に関して月次報告を実施した。

b. 委託先における業務の効率化等

- ・ 20年度よりホームページ上で入札に関する情報提供の実施について検討した。
- ・ 公演事業委員会において、17年度評価について審議した。
- ・ 新規採用職員を対象とした業務研修を振興会(東京)において実施した。
- ・ 東京での研修時に、管理課職員を対象に中期計画・年度計画の説明会を実施した。

(2) 新国立劇場運営委託(財団法人新国立劇場運営財団)

① 委託契約の状況

平成18年4月1日から19年3月31日までの現代舞台芸術に係る業務及び劇場の管理運営に関する業務委託契約を5,092,003,000円を限度として締結。委託確定額は5,092,003,000円である。

② 委託内容

- ・ 公演の実施(オペラ10公演、バレエ7公演、現代舞踊4公演、演劇10公演、地域招聘1公演、普及事業2公演)
- ・ 研修事業の実施(オペラ研修:第7・8・9期生、バレエ研修:第3期生、演劇研修第1・2期生)
- ・ 劇場施設の貸与(オペラ劇場、中劇場、小劇場)
- ・ 劇場施設の管理運営
- ・ その他付帯する業務(教育普及、国際交流等)

③ 運営に関する協議及び報告の状況

- ・ 業務委託に係る規程の改正を協議
- ・ 業務委託契約の変更、収支計画の変更を協議
- ・ 各四半期終了後に受託業務状況報告書を受領
- ・ 委託期間終了後に受託業務実績報告書を受領
- ・ 固定資産取得報告書を受領
- ・ 固定資産不用通知書を受領

④ 運営委託の方針・連絡体制の整備等

振興会で行っている業務運営の形態等を基準に、受託者が多様な手段により相当の自己収入を確保することを前提とし、できる限りコストを抑制しつつ、目標とした事業を実施する契約内容とした。

効率的な業務運営のため委託先より状況報告書・実績報告書を定期的に提出させ、自己収入確保に重要な入場者数を各公演ごとに確認等、効率化状況を把握した。

⑤ 効率化状況

a. 効率化状況等

- ・ 委託費の状況(単位:千円)

| 年度 | 15年度(下半年) | 16年度 | 17年度 | 18年度 |
|------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 金額 | 2,774,367 | 5,107,980 | 4,986,982 | 5,092,003 |
| 前年度比 | - | 97.1% | 97.6% | 102.1% |

※16年度前年度比は15年度通年との比較。

※18年度は新国立劇場情報センターに係る業務を新たに委託した(230,352千円の増)。この影響を除外した場合の委託費は4,861,651千円で17年度比97.5%である。

- ・ 財団における効率化状況を比較検討するため、委託費の分析、自己点検評価等により効率化状況の把握に努めた。
- ・ 運営財団における物品の取得に関して月次報告を実施

b. 委託先における業務の効率化等

- ・ 18年4月1日より情報センターの業務を財団へ移管され、それに伴い財団内組織の見直しを行った。
- ・ 評価委員会及び専門委員会において、17年度評価について審議した。
- ・ 評価業務において、18年度から運営財団で実施していた評価委員会を廃止し、振興会の評価委員会で実施することとして、事務の効率化と評価業務の軽減を図った。
- ・ 「上級救急講習」等の内部研修を実施するとともに、「舞台芸術フェア・アートマネジメントセミナー」等各種研修へ職員を派遣した。

内部統制（監査規定、体制、監査実績、監査内容）についての評価委員会のコメント

監事監査については、監査要綱、実施基準、要領を定め、確実に実施されている。内部監査についても、監査要綱を定め、監査事項に沿った監査が確実に実施されている。